SIGMA BF

取扱説明書

Digital Camera FW Ver.1.00

C46JP2542 J 日本語

このたびはシグマ製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

- 使用説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、 ご使用前に「安全上のご注意」(P.9)、「取り扱い上のご注意」 (P.14)を必ずお読みください。
- 使用説明書は、必要なときにいつでも御覧いただけるようにして、不明な点が生じた際にご活用ください。
- この製品の保証の内容、およびアフターサービスについては、弊 社 WEB サイトにてご確認ください。

著作権、商標、ライセンスについて

あなたが本カメラで記録した画像は、個人で楽しむなどのほかは、 著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。尚、実 演や興行、展示会などのなかには、個人で楽しむなどの目的であっ ても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

- DNG は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- その他本冊子中の社名や商品名は、各社の商標、もしくは登録
 商標です。
- この製品は AVC Patent Portfolio License に基づきライセンス されており、以下に記載する行為に関わるお客様の個人的また は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
- 画像情報を AVC 規格に準拠して(以下、AVC ビデオ)記録すること。
- 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、 または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを 再生すること。
- 詳細については MPEG LA, L.L.C. ホームページ (http://www. mpegla.com)をご参照ください。

Covered by patentist accessadiance.com

オープンソースソフトウェアの詳細については弊社ウェブサイトにて ご確認ください。



sigma-global.com/en/support/open-source-software.html

妨害電波自主規制について



本カメラは、情報処理装置等電波障害自主規制協 議会(VCCI)の基準にもとづくクラスB情報技術 装置です。本カメラは、家庭環境で使用することを 目的としていますが、本カメラをラジオやテレビジョ ン受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起 こすことがあります。使用説明書に従って正しい取 り扱いをしてください。

カメラと付属品の確認

ご使用になる前に、以下のものがすべて揃っているかご確認くださ い。万一、不足しているものがある場合、お買い上げの販売店に ご連絡ください。

- 1. BF カメラ本体
- 2. ボディキャップ (カメラ本体に付属)
- 3. バッテリーパック BP-81
- 4. スタートガイド
- 5. ブックレット
- 6. 保証書
- 7. 保証書シール

著作権、	商標、	ライセンスについて	2
カメラと付属	属品の研	隺認	4

目次	5
安全上のご注意	9
 取り扱い上のご注意	14
レンズについて	16
電子シャッターについて	17
お手入れについて	
各部の名称	19

カメラを使う準備をする	23
ハンドストラップを付ける	
バッテリーを充電する	24
レンズを取り付ける	
電源を入れる / 切る	29
初期設定をする	31
バッテリーのチェック	
タッチパネルの操作について	
シャッターボタンの押し方	
撮影した画像を確認する	

撮影する	34
写真を撮る	34
動画を撮る	35
メインメニュー	
露出を決める	
露出補正	43
ISO オート設定	44

低 ISO 感度拡張	45
シャッタースピード下限	46
スポット測光	48
AE ロック	
露出確認ツール	
マニュアル露出	
バルブ撮影	
ドライブモード	54
1 コマ撮影	54
連続撮影	
露出ブラケット	
フォーカスブラケット	
インターバル撮影	
セルフタイマー撮影	61
ピントを合わせる	63
オートフォーカスによるピント合わせ	63
フォーカスモードの設定	64
シングル AF	65
コンティニュアス AF	67
常時 AF	68
フォーカスフレームの設定	
被写体検出	71
AF シフト	
AF+MF	74
マニュアルフォーカスによるピント合わせ	
フォーカスピーキング	
アシスト表示	
フォーカスリング回転角	81
フォーカスリミッター	
レンズ AFL ボタンの機能	83
手ブレ補正	84
画像の設定	86
記録フォーマット	
アスペクト比	
DC クロップモード	
····································	
記録フォーマット	

映像記録設定	
ホワイトバランスの設定(WB)	
カラーモード	
オールドレンズを楽しむ	
カラーシェーディング補正	
ウェブカメラとして使用する	
オプションメニュー	107
USB 接続について	

画像の再生 / 消去 / 保存	120
静止画を再生する	
1 画像再生	
拡大表示する(静止画のみ)	
動画を再生する	
動画から写真を切り出す	125
日付別表示	126
画像情報を見る	127
ファイルの消去	129
ロック	
回転	131
複数ファイルをまとめて処理する	132
DNG 現像	
ファイル表示設定	136
パソコンに画像を保存する	137
USB ストレージに画像を保存する	
USB ストレージに画像を転送する	
USB ストレージの初期化	140
フォルダ番号、ファイル番号について	141

システムメニュー	143
情報 / ファームウェア	
ストレージ / ファイル管理	147
著作権情報	

レンズ光学補正	151
電子シャッター表示	
センサーリフレッシュ	152
水準器調整	152
日付 / 時刻 / エリア	153
Language / 単位	155
設定の管理	156
こ 記 定 の 管理 	

参考資料	158
別売アクセサリー	
困ったときは	
主な仕様	

安全上のご注意

人的損害や物的損害を未然に防止するため、ご使用の前にこの 項目の内容を十分ご理解いただくようお願いします。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死 \wedge 亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示してい 警告 ます。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障 A 害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発 注意 牛が想定される内容を示しています。

各文章の ∧ 記号は注意、もしくは警告を促す内容を告げてい ます。

各文章の 🛇 記号は行為を禁止する内容を告げています。

▲ 警告 (バッテリーについて)

以下の警告、注意、禁止事項を無視してお使いになると、破裂、 液漏れ、発火の原因になります。

- 使用説明書に指定されていないバッテリーは使用しないでく ださい。
- - バッテリーは指定された機器以外には使用はしないでくださ い。
 - バッテリーを単体で充電したい場合は、専用(別売り)のバッ /!\ テリーチャージャーを使用してください。
- バッテリーは、涼しく乾燥した場所に保管してください。雨 ∕!∖ や湿気にさらさないでください。
- バッテリーを直射日光にさらしたり、火気に近づけないでく /!\ ださい。
 - 極端に気圧が低い場所でのバッテリーの充電、使用、放置 はしないでください。
 - バッテリーに強い衝撃や振動を与えたり、投げつけないでく ださい。



▲ 警告(バッテリーについて)



- バッテリーはお子様の手の届かない場所に保管してくださ い。バッテリーの交換は、お子様だけでは行わず、常に大 人の管理下で行ってください。
- /!\
 - 万一、カメラやバッテリーから煙が出る、異常に熱くなる、 焦げ臭いなどの現象が起きた場合、ヤケドに注意し、速や かにバッテリーを抜いて、ご購入店、もしくは当社サービス 機関にご連絡ください。
- バッテリーを処分される場合は、完全に使い切った状態(放 小 電された状態)にして、テープなどで接点部を絶縁してくだ さい。また、お住まいの自治体の規則に従ってください。
- 長期間使用しない場合、バッテリー室からバッテリーを取り 小 出してください。長期間放置すると、液漏れによるカメラの 破損の原因となります。
- バッテリーからもれた液が皮膚や衣服に付着したら、すぐに /!\ きれいな水で洗い流してください。皮膚のかぶれなどの原因 となります。

∧ 警告(内蔵電池について)

- ・ 飲み込む危険性:このカメラは、交換できない、ボタン/コイン 電池を内蔵しています。
- 電池を飲み込むと、死亡または重傷を負う可能性があります。
- 電池を飲み込むと、わずか2時間で体内に化学熱傷を起こす可能性があります。
- 新品、使用済みに関わらず、電池は子供の手の届かないところ に保管してください。
- 電池を飲み込んだり、体内のどこかに入れた疑いがある場合は、 直ちに医師の診察を受けてください。
- 使用電池: MS621T 電圧: 3.0V

▲ 警告 (カメラについて)

- プロパンガス、ガソリンなどの引火性のガスが発生する場 所では、火災、爆発のおそれがありますので、絶対に使用 しないでください。
- カメラはお子様の手の届かない場所に保管してください。 誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息することがあり ます。
- カメラは自分で分解、改造しないでください。感電、ヤケ ドのおそれがあります。
- 落下等で破損した場合、内部に手を触れないでください。 感雷、ヤケドのおそれがあります。バッテリーを抜いて、ご 購入店、当社サービス機関にご連絡ください。
- レンズ単体で太陽を見ないでください。失明の原因となり ます。
- 水中に落としたり内部に水が入った場合、バッテリーを抜 いてご購入店、もしくは当社サービス機関にご連絡くださ い。そのまま放置しますと火災や感電の原因となります。
- カメラ本体のコネクター部に、金属片等を差し込まないで ください。感電、発熱、発火の原因となります。

/ 注意(カメラについて)

- レンズキャップをはずしたまま放置しないでください。レン ズに長時間日光があたった場合、カメラの故障や火災の原 因となることがあります。
- 三脚にカメラを取り付けたまま移動しないでください。転倒 したりぶつけたりして、けがの原因となることがあります。
- カメラをぬれた手でさわらないでください。感電することが あります。
- カメラを熱いものの近くや、日中の車内に放置しないでください。カメラ自体が高温になり、ヤケドの原因となることがあります。
- 液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片にご注意ください。ケガの原因となります。また、液晶モニター内部の液体に触れたり、目や口に入らないよう、充分ご注意ください。

ご使用の前に

大切な撮影をする前には、事前のチェックや試し撮りをして、カ メラが正常に作動するか必ず確認してください。撮影に要した 諸経費、および撮影により得べかりし利益の損失等については 保証致しかねます。

長期間の旅行、野外撮影、寒冷地での撮影、動画撮影、また はたくさんの写真を撮られるようなときなどには、満充電のバッ テリーを多めに用意することをおすすめします。

ご使用の環境や注意点について

- カメラは精密機械です。ぶつけたり、落としたりしないでください。
- 本機は防塵・防滴構造となっており、小雨などでの使用は可能 ですが、防水構造ではありません。水辺などでの使用では、大 量の水が掛らないように注意してください。水がカメラ内部に入 り込むと、大きな故障の原因となり、修理不能になる場合があ ります。
- ほこりの多い場所や高温多湿の場所(特に日中の車内等)へ長時間放置しないでください。
- 寒い場所から温かい室内に持ち込む場合、カメラに水滴が生じます。カメラをバックやビニール袋に入れて周囲の温度になじませてからご使用ください。
- 本機の使用可能温度は約0℃~+40℃、使用可能湿度は約85%以下(結露しないこと)です。0℃以下になるとバッテリーの性能低下が影響します。寒い場所では予備のバッテリーを用意し、ポケットに入れて保温しながら交互に使用することをおすすめします。
- 静電気や磁気の影響により、まれにカメラが作動しなくなること があります。このようなときは、一旦バッテリーを取り出して再 度装填し直してください。また、強い電波や磁気の発生する場所 では、カメラが正常に作動しない場合があります。

長時間撮影の注意点について

- カメラの表面が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 長時間、動画撮影や連続撮影をすると、センサーの温度が上昇し、 画質が低下する場合があります。ヘッダーに警告マーク(0)(4))が表示されたら、警告マークが消えるようにシャッタースピード、 ISO感度の設定を変更する、もしくはカメラの電源を切り、温 度が下がるのを待って撮影されることをおすすめします。
- カメラの温度が上昇すると、警告マーク(心へ)が表示されます。 さらに温度が上昇すると、メッセージが表示され、カメラの電源 が OFF になります。カメラの温度を充分下げるために、10 分 以上放置してください。

液晶モニターについて

- 液晶モニターはその特性上、一部の画素に常時点灯、あるいは 常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありま せん。また、記録されるデータには影響ありません。予めご了 承ください。
- 液晶の特性により、低温下で表示の反応が遅くなることがあります。また、高温下で表示が黒くなることがありますが、常温になれば正常に戻ります。

レンズについて

本機はLマウントを採用しています。ご使用になれるレンズは、L マウント用交換レンズです。

- 本機は35mmフルサイズの撮像素子を搭載しています。撮像素子の性能をフルに活かすには、Lマウントのフルサイズフォーマット用レンズをご使用ください。APS-Cフォーマット用レンズもご使用になれますが、撮像素子の記録範囲を限定したDCクロップモードでの撮影となります。
- シグママウントコンバーター MC-21 (別売) との組み合わせに より、シグマ SA マウント用レンズ、シグマ製キヤノン EF マウン ト用レンズがご使用になれます。
- レンズの発売時期などにより、レンズのファームウェアの更新が 必要な場合があります。またはカメラのファームウェアの更新が 必要な場合もあります。対応レンズの最新情報につきましては、 弊社 WEB サイトにてご確認ください。
 sigma-global.com/ip/
- Lマウントに準拠していないサードパーティー製品を装着すると、 カメラの故障の原因になりますのでご注意ください。

電子シャッターについて

本機は、機械式のシャッター機構を搭載しておりません。撮像素子 を電気的に制御して露光時間を調整する、電子シャッターを採用し ています。

電子シャッターは、無音で振動が無い、より高速な連続撮影が可 能などのメリットがあります。反面、電子シャッターによるデメリッ トもありますので、以下の点にご注意ください。

- 蛍光灯などのフリッカー光源下では露出ムラが起きやすいので、 比較的遅めのシャッタースピードを使用してください。
- 動きの速い被写体では歪みが発生する場合があります。

お手入れについて

- ボディやレンズのお手入れにシンナーやベンジンなどの有機溶 剤は表面の仕上げをいためますので絶対に使用しないでください。ボディやレンズの鏡筒部は柔らかい清潔な布で軽く拭いてください。レンズ面についたほこり等は市販のブロワーで軽く吹き 飛ばす程度にし、指紋などがついてしまった場合は市販のレンズ クリーナーを使用して慎重に拭きとってください。
- 液晶モニターにほこりやゴミ等が付着した場合は、市販のブロ ワーで吹き飛ばしてください。汚れがひどいときは柔らかい清潔 な布で軽く拭いてください。

ダストプロテクターの清掃について

ダストプロテクター(撮像素子保護ガラス)に付着したホコリは、 ブロアーで吹き飛ばしてください。万一、指紋などが着いてしまっ た場合は、ブロアーでホコリを吹き飛ばしたあとに、柔らかい清潔 な布で軽く拭いてください。それでも汚れが取れない、ホコリが写 りこむ場合などは、弊社営業所にクリーニングをお申し付けください。

警告!!

- スプレー式のエアクリーナーは使用しないでください。噴射する 角度によっては液体が噴き出し、ダストプロテクターを傷める可 能性があります。
- ブロワーは、必ずブラシのついていないものを使用してください。
 ブラシ付のものはダストプロテクターにキズをつける恐れがあります。

保管について

- 長期間ご使用にならないときは、液漏れによるカメラの破損を防 ぐため、バッテリーを取り出して保管してください。
- カビや錆の発生を防ぐため、風通しのよい乾燥した場所に保管してください。カメラを乾燥剤といっしょにビニール袋にいれて保管するのも有効な手段です。ただし乾燥剤は有効期限がありますので、ときどき交換してください。ナフタリン等の防虫剤はカメラに悪影響を与えますのでいっしょに保管しないでください。

各部の名称



1	レンズ信号接点
2	レンズ取り付け指標 / レンズロックピン
3	レンズ着脱ボタン
4	ストラップホール
5	スピーカー
6	マウント
7	撮像素子 / ダストプロテクター
8	バッテリー室
9	バッテリー取り外しレバー
10	三脚穴
11	マイク(R)
12	マイク (L)
13	USB 端子(USB3.0・Type-C)
14	撮像素子位置マーク
15	液晶モニター / タッチパネル
16	シャッターボタン
17	ステータスモニター
18	ダイヤル
19	
20	・・・・ (オプション)ボタン
21	● (再生)ボタン
22	● (電源)ボタン

ご注意 !!

- ダストプロテクター(撮像素子保護ガラス)(7)には触れぬよう、 十分ご注意ください。

ダイヤル・操作ボタンについて

- ダイヤルは、方向ボタンの機能を兼ねています。本書では各ポジションを ヘ / ∨ / ζ / > で表しています。



- 方向ボタンを上下で操作する場合は、、左右で操作する場合は、、た右で操作する場合は、、上下左右で操作する場合は、、で表しています。
- ダイヤル各ポジションのボタンと、④ ボタン、● ボタン、 ボタンは、「タッチ」と「押す」の2通りの操作方法があります。

ヘッダー表示

・・・ ボタン操作時や、動画モード時、画面最上部に各種情報を表示します。

ボタン操作時のヘッダー表示 静止画モード時

1	2	3
100%	15:46	9999

- 1. バッテリー残量表示
- 2. 時刻表示
- 3. 撮影可能枚数表示

動画モード時

1	2 3	4
100%	15:46	9h59m

- 1. バッテリー残量表示
- 2. スタンバイ表示
- 3. 時刻表示
- 4. 記録可能時間表示

ご注意!!

- 動画モード時、オプションメニュー「撮影情報」(P.108)が OFF になっていると、スタンバイ表示以外は表示されません。 すべての情報を表示させたい場合は、「撮影情報」を ON にして ください。

カメラを使う準備をする

ハンドストラップを付ける

この製品は、ハンドストラップを付属していません。ハンドストラッ プは別売りの専用ハンドストラップ HS-11B / HS-11G をご購入くだ さい。

ストラップホールにハンドストラップを取り付けます。



バッテリーを充電する

付属の専用リチウムイオン充電池「バッテリーパック BP-81」(以降、 バッテリーと表記)をカメラにセットし、市販の USB AC アダプター やパソコンなどを利用して充電します。ご購入時にはバッテリーは 充電されていません。充電してからお使いください。

1

バッテリーをカメラのバッテリー室にセットします。



2

市販の USB Type-C ケーブルで、カメラと市販の USB AC アダプ ターやパソコンをつないで充電します。



- 充電中は、ステータスモニターにバッテリーの充電状態(バッテ リー残量)が表示されます。



- 充電時間は USB PD アダプター(9V/3A)を使用した場合で、
 約2~3時間です。
- 充電時間はアダプターやパソコンの仕様によって異なります。
- 100%で充電が完了し、ステータスモニターが消灯します。

- このカメラは USB PD (USB Power Delivery) に対応しています。
 USB PD アダプターは、出力が 9V/3A に対応したものをおすすめします。
- USB PD アダプターで充電する場合は、3A に対応した USB Type-C ケーブルをご使用ください。

ご注意!!

- 充電しても、撮影可能枚数が極端に少なくなった場合は、バッテ リーの寿命が考えられます。新しいバッテリーと交換してください。
- 充電は0℃~ 45℃ の場所で行ってください。
- 低温下(10℃以下)では、充電時間が長くなります。
- パソコンにつなぐ場合は、必ずパソコン本体の USB 端子に接続してください。モニターやキーボードなどの USB 端子や USB ハブには接続しないでください。
- パソコンが休止状態になると、充電が中断されることがあります。

メモ

- AC アダプターやパソコン接続時は、充電と同時にカメラに電源が供給され、カメラの操作が可能です。(バッテリーはカメラにセットしたままにしてください。)
- バッテリーは、バッテリーチャージャー BC-81 (別売) でも充電 できます。(P.158)

バッテリーの取り外し方

バッテリー取り外しレバーをスライドさせて、バッテリーを取り出し ます。



警告 !!



画像の書き込み中のサイン

- この製品は、充電式リチウムイオン電池(バッ テリー)を使用しています。ご使用済のバッテリー は貴重な資源となります。端子にテープを貼り つけて絶縁してからリサイクル協力店にお持ちく ださい。詳細は、一般社団法人 JBRC のホー ムページをご参照ください。 ホームページアドレス: http://www.jbrc.com/ - カメラを廃棄する際には、「バッテリーの取り外 し方」の手順に従い、カメラからバッテリーを 外し、バッテリーのリサイクルにご協力ください。

レンズを取り付ける

1

カメラの電源を OFF にします。

2

レンズのリヤキャップと、カメラのボディキャップを外します。

ボディキャップはレンズ着脱ボタンを押しながら左に回してください。



з

カメラのマウントにあるレンズ取り付け指標とレンズ側の指標を合わせてレンズをはめ込み、レンズを右回りにカチッと音がしてロック されるまで回します。



ご注意 !!

 取り付けのときにレンズ着脱ボタンを押していると、ロックが不 完全になる場合があります。必ずロックがされていることを確認 してください。 レンズを取り外すときは、レンズ着脱ボタンを押しながら、左回り に止まるまで回し、静かに引き抜いてください。



ご注意 !!

マウント面には電気接点があります。キズや汚れがつくと誤作動
 や故障の原因となりますのでご注意ください。

電源を入れる / 切る

(電源)ボタンの操作や、バッテリーの消費を抑えるモードについて説明します。

カメラの電源が OFF のときに

● ボタンを押すと電源が入ります。

カメラの電源が ON のときに

● ボタンを短押し (*1) すると、スリープモード※になります。
 ● ボタンを長押し (*2) すると、カメラの電源が OFF になります。

(*1) 短押し = 押す時間が 0.2 秒程度

(*2) 長押し= 押す時間が1秒程度

※スリープモード

ー定時間カメラを操作しない状態が続くと、スリープモードになり、 液晶モニターが消灯し、バッテリー消費を抑えます。

 スリープモード中は、ステータスモニターにバッテリー残量が表 示されます。



メモ

- スリープモードに移るまでの時間は、オプションメニュー「モニ ター設定」の「スリープタイマー」(P.113)で変更できます。

カメラがスリープモードのときに

ボタンを短押し(*1)する、もしくはシャッターボタンを半押しすると、スリーブ前の状態に戻ります。

● ボタンを長押し (*2) すると、カメラの電源が OFF になります。

オートパワーオフ

カメラがスリープモードから約5分経過すると、よりバッテリーの消費を抑えるために、電源がOFFになります。

ご注意!!

- オートパワーオフになると、スリープ前の状態はクリアされます。

メモ

- パソコンにつないだまま電源を入れると「USB モード選択」画面が表示されます。充電や USB 給電でカメラの操作を続けたい場合は、「キャンセル」を選択して●ボタンを押してください。

初期設定をする

ご購入後、初めてカメラの電源を入れた時に、カメラの初期設定を してください。

言語を設定する

◇ ボタンで希望の言語を選び、 ● ボタンを押します。
距離情報の単位を設定する

◆ボタンで M(メートル)か FEET(フィート)を選び、④ボタンを押します。

タイムゾーンを設定する

◆ボタンでご使用になるエリアを選び、 ● ボタンを押します。
日付 / 時刻を設定する

● ボタンを押して、 ◆ ボタンで年月日、時刻を設定し、 ● ボタンを押します。

- 必要に応じて、「サマータイム」「日付フォーマット」「24時間表示」を設定します。

「完了」を選び、 () ボタンを押すと初期設定が終了します。

- 初期設定画面で設定する項目は、あとから「システムメニュー」 の各項目で変更できます。

バッテリーのチェック

100%	満充電です。
15%	バッテリー残量が少なく、まもなくカメラが作動 しなくなります。バッテリーを充電、もしくは交 換してください。
5%	バッテリー残量が殆どなく、カメラが作動しなく なります。バッテリーを充電、もしくは交換して ください。
5 0%	充電中

 バッテリーの充電中やスリープモードでは、ステータスモニター にバッテリー残量が表示されます。



ご注意!!

- SSD等のUSBストレージを装着すると、電池の消費が増えるため、電池残量の表示が変化します。
- – 低温および高温時に、一時的にバッテリー残量が減る場合があります。

タッチパネルの操作について

ー部の機能でタッチパネル(液晶モニター上のタッチセンサー)で の操作が可能です。

タッチ操作の言葉の意味は以下のようになります。

タップ	触れて離す
ドラッグ	触れたまま動かす
フリック	動かしながら離す
ピンチアウト	2本指で広げる
ピンチイン	2本指で縮める

シャッターボタンの押し方

軽く押して止まるところ(半押し)で、フォーカス機能が作動します。 さらに押し込むと(全押し)撮影されます。



撮影した画像を確認する

撮影後、すぐに画像を確認するには、 🗗 ボタンをタッチします。

- ライブビュー中に● ボタンをタッチすると、最後に撮影された画像が表示されます。
- 動画の場合は、最初のコマが表示されます。
- レボタンを押すと再生モードに切り替わります。

撮影する

写真を撮る

写真を撮るための大まかな順序は以下の通りです。

ドライブモードを選ぶ (P.54) 記録フォーマットを選ぶ (P.86) 露出を決める (P.38) ピントを合わせる (P.63) シャッターボタンを押して撮影 – その他の設定は、各該当ページをご残照ください。

動画を撮る

動画を撮るための大まかな順序は以下の通りです。

ドライブモードを「動画」にし、記録フォーマットを選ぶ (P.91) 解像度、フレームレートを選ぶ (P.93) 露出を決める (P.38) ピントを合わせる (P.63) シャッターボタンを押して撮影スタート 動画撮影中は… ステータスモニターに赤いラインが表示されます。



ヘッダーの時刻表示が記録時間表示(赤色)に変わります。

100% 00:00:01 9h59m

再度シャッターボタンを押して撮影ストップ

- その他の設定は、各該当ページをご残照ください。

ご注意 !!

 ストレージに十分な空き容量があっても、1回の動画撮影時間は、 最長2時間に制限されます。
メインメニュー

露出やドライブモードなど、撮影の主要な設定はメインメニューで 行います。

ライブビュー中に ④ ボタンを押すと、メインメニューが表示されま す。



- 1. ドライブモード
- 2. 記録フォーマット
- 3. アスペクト比 + DC クロップモード
- 4. フォーカスモード
- 5. ホワイトバランス
- 6. 露出エリア
- 7. カラーモード

ドライブモードが動画に設定されていると、メインメニュー上段は 以下のようになります。

100)%	• 1	5:46		9h59m
💾 Н.264	UHD 29.9	1.0x	((🗅)) OFF	AFC	AWB
	and in the local division of		- 4 B.	18 Alter	
8	9	10	11	12	13

8. 動画モード (記録フォーマット)

9. 解像度 + フレームレート

10.DC クロップモード (クロップ倍率表示)

- 11. 手ブレ補正
- 12.フォーカスモード
- 13.ホワイトバランス

メインメニューでは:

- 〈〉ボタンで左右のカーソル移動、〈・ボタンで上段下段のカー ソル移動ができます。(〈〉ボタンを押し続けても上段下段のカー ソル移動ができます。)
- 希望の項目にカーソルを合わせ、ダイヤルを回して設定を変更します。
- 希望の項目にカーソルを合わせ、

 ボタンを押すとそれぞれの 設定画面にはいります。
- シャッターボタンを半押しすると、メインメニューは消えますが、 ステータスモニターにカーソルの合っている項目が表示されてい ます。ステータスモニターを見ながら項目・設定の変更ができます。



露出を決める

メインメニューの露出エリアで設定します。

1/250	F4.0	±0.0	ıso 400	STD.
1 設定画面	2	3	4	
аито 1/250	аито F4.0	±0.0	AUTO ISO 400	
1	2	3	4	5

- 1. シャッタースピード
- 2. 絞り
- 3. 露出補正 / 露出メーター表示
- 4. ISO 感度
- 5. ヒストグラム
- 1

<> ボタンで、設定を変えたい要素(シャッタースピード、絞り、 ISO 感度)のいずれかにカーソルを合わせ、 ● ボタンを押します。

1/250	F4.0	±0.0	ıso 400	STD.
-------	------	------	----------------	------

2

✔ ボタンで下段にカーソルを合わせ、ダイヤルで値を設定します。

AUTO	AUTO		AUTO	
1/125	F5.6	±0.0	ıso 400	

3

シャッターボタンを半押しする、もしくは④ ボタンで確定します。

1/125	F5.6	±0.0	ıso 400	STD.

被写体の明るさに応じて、標準露出になるように「AUTO」に設 定されている要素が変化します。

- 「AUTO」が外れている要素は、そのままダイヤルを回すと値を 変更できます。
- 「AUTO」に設定されている要素は、カーソルを合わせてもグレー で表示され、値を変更できません。
 ボタンを押して設定を変 更してください。

露出をカメラ任せで気軽に撮影したい場合、シャッタースピード、 絞り、ISO 感度を「AUTO」に設定します。

各要素(シャッタースピード、絞り、ISO 感度)を **へ** ボタンで 「AUTO」に設定します。



ご注意!!

 明るすぎ、もしくは暗すぎて標準露出が得られない場合、 「AUTO」に設定されている要素の表示が点滅します。

- メモ
- オプションメニュー (P.107)の「撮影情報」を「ON」に設定 すると、ライブビュー中に、下段の露出エリア・カラーモードの 情報が表示されます(カーソルは表示されません)。
- 露出エリアが選択されているとき、露出調整に便利なヒストグラムが表示されます。ヒストグラムの詳細は P128 をご覧ください。
- 1秒より長いスローシャッターでは、露光中、シャッタースピード 表記が赤くなり、露光が終わるまでの時間がカウントダウン表示 されます。

絞りリング付の L マウントレンズをご使用の場合

レンズの絞りリングで絞り値を設定できます。

ご注意!!

レンズの絞りリングが A ポジション以外に設定されていると、カメ ラ側では絞り値を設定できません。カメラのダイヤルで絞り値を設 定したい場合は、レンズの絞りリングを A ポジションにセットしてく ださい。

メモ

露出は3つの要素の関係で決まります。

絞り

レンズに組み込まれた絞り羽根で、撮像素子に届く光の量を調節し ます。数値を小さくする(開ける)と光量が増え、数値を大きくする(絞 る)と光量が減っていきます。数値を大きくする(絞る)とピントの 合う範囲が広がり、小さくする(開ける)とピントの合う範囲が狭く なる性質があります。

シャッタースピード

露光時間(シャッタースピード)で光の量を調節します。シャッター スピードを速くすると、動きの速い被写体を止めることができ、遅く すると動きを表現することができます。シャッタースピードが遅くな ると、手ブレを起こしやすくなります。

ISO 感度

絞りもシャッタースピードも固定して撮りたい場合、撮像素子自体 の感度を増減することで、露出を調節することができます。ISO 感 度が高くなる(数値が大きくなる)ほど、暗い被写体に対して有利 になりますが、画像にノイズが増える傾向になります。

シャッターアングルについて

動画モードでは、シャッタースピードをシャッターアングル表記に切り替えることができます。

シネマカメラでは、シャッターにおける露光時間の単位として、シャッ ターアングル(角度)が一般的に用いられています。例えば、360 °は1フレームあたり100%の露光時間、180°は50%の露光時間 を与えることを意味します。

動画モード時に、シャッタースピードを選択、シャッターアングル表 記のタップボタンをタップします。



シャッターアングル OFF	シャッタースピードで表記され
(初期設定)	る。
シャッターアングル ON	シャッタースピードがシャッター アングルで表記される。

露出補正

カメラが判断した適正露出に対し、意図的に明るめにしたり、暗め にしたい場合、この機能を使います。

露出補正値にカーソルを合わせ、ダイヤルで補正量をセットします。

1/250	F4.0	ıso 400	STD.

「AUTO」に設定されている要素が、補正量に合わせ変化します。

- 補正量は 1/3 段ステップで、±5 段まで設定できます。

ご注意!!

- 露出補正は自動的に解除されません。撮影が完了したら、ダイ ヤルで補正量を± 0.0 に戻してください。
- シャッタースピード、絞り、ISO 感度のすべてが「AUTO」から 外れているときは、露出補正は設定できません。

メモ

- シャッターボタンの半押し中は、メインメニューのカーソルがどの位置でも露出補正ができます。(ステータスモニターが常に露出補正表示になります。)
- 静止画モードと動画モードで、別の値を設定できます。

ISO オート設定

ISO オートにおける ISO 感度の下限、上限を設定できます。

1

ISO を選択、ISO が「AUTO」のときに、ISO オート設定のタッ プボタンをタップします。



2

⟨> ボタンで「ISO オート下限」「ISO オート上限」を選択、 タンかダイヤルで、設定値を変更します。

ISO オート下限	ISO オート上限
ISO 100(初期設定)~	ISO 125 ~
80000	102400(初期設定)

メモ

- 静止画モードと動画モードで、別の値を設定できます。

低 ISO 感度拡張

静止画モードのみ

ー回で複数枚の画像を撮影し自動合成、低感度撮影と同等の状態 を作り出し、ノイズが低減された階調豊かな写真を撮ることができ ます。

ISOを選択、ISOが「AUTO」から外れているときに、低 ISO 感度拡張のタップボタンをタップする(低 ISO 感度拡張 ON)と、拡張領域(ISO80~6)の選択肢が追加されます。



ご注意 !!

- ISO が「AUTO」のときは設定できません。
- 被写体の動きが速いときやシャッタースピードが遅いときなどに、 画像にズレが生じる場合があります。
- ISO6 から ISO80 の間では、設定する ISO 感度によって、シャッ タースピードの選べる範囲、動作範囲が変わります。

シャッタースピード下限

シャッタースピード「AUTO」時における、シャッタースピードの下限や、シャッタースピードの制御傾向(速め、遅め)を設定できます。

1

シャッタースピードを選択、シャッタースピードが「AUTO」のときに、 シャッタースピード下限設定のタップボタンをタップします。



2

⟨> ボタンかダイヤルで、好みのシャッタースピードの制御傾向、もしくはシャッタースピードの下限を設定します。

AUTO (SLOWER)	標準より2段遅いシャッタースピード に設定される。
AUTO (SLOW)	標準より1段遅いシャッタースピード に設定される。
AUTO (標準)(初期設定)	おおよそレンズの焦点距離分の1秒 に設定される。
AUTO (FAST)	標準より1段速いシャッタースピード に設定される。
AUTO (FASTER)	標準より2段速いシャッタースピード に設定される。
∦ 4s ~ 1/25600	各シャッタースピードに設定される。

※動画モードでは、フレームレートの設定により、選択できるシャッ タースピードが変わります。 動画モード、シャッターアングル ON 設定時は、次のような選択 肢になります。

最大シャッターアングル

AUTO (SLOWER)	標準より2段広いシャッターアングル に設定される。
AUTO (SLOW)	標準より1段広いシャッターアングル に設定される。
AUTO (標準)(初期設定)	基本的に、シャッターアングルが 180°に設定される。
AUTO (FAST)	標準より1段狭いシャッターアングル に設定される。
AUTO (FASTER)	標準より2段狭いシャッターアングル に設定される。
ж 1.1° ~ 360°	各シャッターアングルに設定される。

※フレームレートの設定により、選択できるシャッターアングルが変わります。

メモ

- 静止画モードと動画モードで、別の値を設定できます。

スポット測光

通常は、画面全体を分割し露出を算出する評価測光が行われます。 特定の部分だけに露出を合わせたい場合は、スポット測光が便利 です。

露出エリアが選択されているときに、スポット測光のタップボタンを タップする (スポット測光 ON) と、スポット測光に切り替わります。



画面中央に測光範囲を示すサークルが表示されます。



通常の評価測光に切り替えるには、再度、スポット測光のタップボ タンをタップ(スポット測光 OFF)してください。

AE ロック

一時的に露出を固定し、一定の露出で撮影したいときに便利な機 能です。

露出エリアが選択されているときに、AE ロックのタップボタンをタッ プする (AE ロック ON) と、そのときの露出が固定されます。



AE ロック中は、半押しすると画面左端にロック中のアイコンが表示されます。



- 再度 AE ロックのタップボタンをタップする(AE ロック OFF)、
 もしくは電源を OFF にするまで AE ロックは解除されません。
- すべての要素の「AUTO」が外れているときは AE ロックはできません。

露出確認ツール

露出の決定に役立つ、ふたつのツールを備えています。

露出エリアの要素が選択されているときに、露出確認ツールのタッ プボタンをタップして、**〈〉**ボタンかダイヤルで選択します。



OFF (初期設定)	露出確認ツール OFF
ZEBRA	ゼブラパターン
FALSE	フォルスカラー

ゼブラパターン

任意の輝度範囲をゼブラパターンで表示します。



ふたつのゼブラパターンを設定できます。
 「ゼブラパターン」を選び、 ● ボタンで設定画面にはいります。
 〈> ボタンで項目を選び、◇ ボタンかダイヤルで設定します。

- 一設定画面にはいらずにシャッターボタンを半押しすると、前回の 設定値でゼブラパターンが表示されます。
- 設定範囲:0% = 輝度値0~100% = 輝度値255
- パターンの色は8種類と、パターン無しを選べます。
- 左右のゼブラパターンの設定値が被ってしまった場合、左側のゼ ブラパターンが優先されます。

フォルスカラー

画面内の露出の状況が色分け表示されます。

 表示色の意味は次のようになります。紫色側は露出アンダー、 赤側は露出オーバーを示します。

紫	0 ~ 2.5%	ほぼ黒つぶれする部分
青	2.5% ~	黒つぶれしそうな部分
緑	18% GRAY	ほぼ適正露出(18% グレー)の 部分
ピンク	18% GRAY +1STOP	適正露出に対してほぼ +1EV の 部分
黄色	~ 99%	白飛びしそうな部分
赤	99 ~100%	ほぼ白飛びする部分

マニュアル露出

全ての要素(シャッタースピード、絞り、ISO 感度)の「AUTO」 を外すとマニュアル露出撮影になります。ライブビューの具合を見 ながら、好みの露出になるように値を調整してください。

露出メーターの値を参考に露出を調整できます。

露出メーターの表示は 1/3 段ステップで± 5 段まで表示されます。 表示範囲を超えた場合、露出メーターの数字が点滅表示されます。

1/250	F4.0	+5.0	ıso 400	STD.

メモ

- シャッターボタンの半押し中は、メインメニューのカーソルがどの位置でも露出調整ができます。カーソルが露出エリア以外にある場合は、露出エリアの最後に操作した要素が変更できます。 (ステータスモニターに該当の要素が表示されます。)

バルブ撮影

シャッターボタンを押している間、シャッターが開き続けます。花火 や星景、光跡を写しこみたいときに使います。

絞り、ISO 感度を「AUTO」から外し、任意の値に設定したあと、 シャッタースピードを BULB にします。

BULB	F5.6	±0.0	ıso 400	STD.

ご注意!!

- BULB 設定時、露出メーターは機能しません。外部露出計等を 利用して露出を決めてください。
- バルブ撮影での露光可能な時間は5分までです。シャッターボタンを押したままでも、5分経つと自動的にシャッターが閉じます。
- 長時間の露光では、ノイズが増える場合があります。

ドライブモード

静止画

連続して撮影する、露出を変えながら撮影するなど、撮影シーンに 合わせたドライブモードを選びます。

メインメニューのドライブモードで選びます。



動画		動画	
	1	1コマ撮影(初期設定)	
		連続撮影	ଷ
静止画		露出ブラケット	セルフタイマーが
	C	フォーカスブラケット	併用できます。
	INT	インターバル撮影	

1コマ撮影

シャッターボタンを押すと、1枚だけ撮影します。

連続撮影

シャッターボタンを押し続けている間、連続撮影します。 連続撮影はコマ速を選べます。

「連続撮影」を選び、 🗘 ボタンでコマ速を選びます。

8 FPS	最大約8コマ/秒	(初期設定)
5 FPS	最大約5コマ/秒	
3 FPS	最大約3コマ/秒	

ご注意!!

- 連続して撮影できる枚数は、おおよそ100枚以上ですが、設定 条件や撮影条件によって100枚を下回る場合があります。
- 連続して撮影できる枚数が50枚を下回るとバッファー残量が表示されます。数字が0になると撮影できません。



露出ブラケット

カメラが判断した適正露出を基準として、露出をずらした写真を連 続で撮ることができます。

「露出ブラケット」を選び、 ヘ ボタンで設定画面にはいります。 〈> ボタンで項目を選び、 ◇ ボタンかダイヤルで設定します。

 一設定画面にはいらずにシャッターボタンを半押しすると、前回の 設定値で撮影されます。

ずらし量	枚数	順序
1 / 3 段 ステップ で±3段 まで	3枚 5枚 □ 3枚 □ 5枚	$0 \rightarrow - \rightarrow +$ 適正 $\rightarrow $ アンダー $\rightarrow $ オーバー $- \rightarrow 0 \rightarrow +$ アンダー \rightarrow 適正 $\rightarrow $ オーバー $+ \rightarrow 0 \rightarrow -$ オーバー \rightarrow 適正 $\rightarrow $ アンダー

- 「3枚」「5枚」は、指定された順序で露出をずらしながら、1枚 ずつ撮影されます。
- 「3枚」「2」5枚」は、指定された順序で露出をずらしなが ら、連続撮影されます。
- 「□ 3枚」「□ 5枚」は、オートフォーカスで撮影の場合、2 枚目以降も最初の撮影でAFロックされたピント位置で撮影されます。

- シャッタースピード、絞り、ISO 感度のすべてが「AUTO」から 外れているときは、設定されたシャッタースピードを中心として、 シャッタースピードが変化します。
- 露出ブラケットは、露出補正と併用できます。露出補正で設定された補正値を基準としてブラケット撮影されます。

ご注意!

露出ブラケットは、撮影後も解除されずに繰り返し行われます。
 機能を解除するには、ドライブモードを他のモードに切り替えてください。

フォーカスブラケット

合焦位置を基準に、ピント位置をずらした写真を連続で撮ることが できます。

「フォーカスブラケット」を選び、へ ボタンで設定画面にはいります。 〈> ボタンで項目を選び、◇ ボタンかダイヤルで設定します。

 一設定画面にはいらずにシャッターボタンを半押しすると、前回の 設定値で撮影されます。

ずらし量	枚数	順序
1 ステップ で土 10 まで	3, 5, 7, 9, 11, 13, 15 枚	 0→-→+ 合焦位置→前ピン→後ピン 0→+ 合焦位置→後ピン 0→- 合焦位置→前ピン

- レンズによって1ステップあたりのずれる距離が異なります。

シャッターボタンを半押しして合焦後、シャッターボタン全押しする と、指定された順序でピントをずらしながら、連続撮影されます。

ご注意 !!

- フォーカスブラケットは、撮影後も解除されずに繰り返し行われ ます。機能を解除するには、ドライブモードを他のモードに切り 替えてください。

インターバル撮影

一定の時間間隔で、自動撮影を行うことができます。

「インターバル撮影」を選び、 ヘ ボタンで設定画面にはいります。 く> ボタンで項目を選び、 ◇ ボタンかダイヤルで設定します。

 一設定画面にはいらずにシャッターボタンを半押しすると、前回の 設定値で撮影されます。

撮影間隔	撮影回数
1 秒~ 60 分	2~9999回

 一設定画面に、最後のコマが撮影されるまでの、トータルの時間 が表示されます。

シャッターボタンを押して、インターバル撮影を開始します。

- 撮影が開始されると、次のコマが撮影されるまでの時間と、残り枚数が表示されます。
- オートフォーカスで撮影の場合、2枚目以降も最初の撮影でAF ロックされたピント位置で撮影されます。
- 撮影間隔を短めに設定した場合、撮影画面に戻らないうちに次の撮影が始まる場合があります。
- 露出は撮影のたびに再測光されます。2枚目以降も1枚目と同 じ露出で撮影したい場合は、Mモード、またはAEロックボタ ンにより露出を固定して撮影してください。
- 撮影途中でインターバル撮影を中止する場合は、シャッターボタンを押します。

ご注意!!

- バッテリー残量により、途中で撮影が中断することがあります。
 USB PD アダプターのご使用をおすすめします。
- インターバル撮影は、撮影後も解除されずに繰り返し行われます。機能を解除するには、「ドライブモード」で他のモードに切り替えてください。
- 設定条件によっては画像処理に時間がかかり、設定した時間よりも長いインターバルになることがあります。

セルフタイマー撮影

静止画の各ドライブモードで、セルフタイマーが併用できます。

「ドライブモード」 画面で、 セルフタイマーのタップボタンをタップし、 〈〉 ボタンかダイヤルで設定します。



OFF (初期設定)	セルフタイマー OFF
2s	シャッターボタンを押してから約2秒後に撮影 されます。
10s	シャッターボタンを押してから約 10 秒後に撮 影されます。

セルフタイマーをセットすると、セルフタイマーのアイコンが表示さ れます。



構図を決め、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。さ らにシャッターボタンを押し込むとセルフタイマーが作動します。作 動中は電子音が鳴り、2秒前になると電子音が速くなり知らせます。

- セルフタイマーを解除するには、「ドライブモード」画面でセルフ タイマーのタップボタンをタップし「OFF」にしてください。
- オプションメニュー「サウンド設定」の「スピーカー音量」もしくは「タイマー音量」が「0%」に設定されていると、音が鳴りません。
- セルフタイマーを作動中に解除をしたい場合は、再度シャッター ボタンを押してください。

各ドライブモードとセルフタイマーの組合せによる動作は、以下のよ うになります。

 1 コマ撮影	タイマー作動後、1枚撮影されます。
	1回のレリーズで複数枚連続撮影される、「タ イマー連続撮影」モードになります。大人数 の記念撮影など、タイミングが難しい撮影に 便利です。
連続撮影	☆ボタンで連続撮影される枚数を「3枚」か「5枚」を選びます。
図 露出ブラケット	13 枚」「5 枚」 シャッターボタンを押すごとにタイマーが作 動、指定された順序で露出をずらしながら、1 枚ずつ撮影されます。
	「 」 3枚」「」 5枚」 タイマー作動後、指定された順序で露出をず らしながら、連続撮影されます。
図 フォーカス ブラケット	タイマー作動後、指定された順序でピントをず らしながら、連続撮影されます。
INT インターバル撮 影	タイマー作動後、設定された条件でインター バル撮影が開始されます。

ピントを合わせる

撮影シーンや被写体によって、フォーカスモードやオプションの設定 をします。

オートフォーカスによるピント合わせ

1

レンズにフォーカスモード切換えスイッチがある場合はスイッチを AF にします。



2

カメラのフォーカスモード (P.64) を設定します。

3

シャッターボタンを半押しすると、オートフォーカスが作動します。

フォーカスモードの設定

メインメニューのフォーカスモードで選びます。



静止画モード時

AF S	シングル AF(初期設定)
AFC	コンティニュアス AF
ME	マニュアルフォーカス

動画モード時

ME	マニュアルフォーカス
AFC	コンティニュアス AF
AFC	常時 AF (初期設定)

シングル AF

静止画モードのみ

静止している被写体向きです。ピントが合ったあと、シャッターボタ ンを半押ししている間、ピントが固定されます。

- ピントが合うと、フォーカスフレームが緑色で点灯し、合焦音で 知らせます。





多点オート時 (P.70)

1 点時 (P.69)

- ピントが合わない場合、フォーカスフレームが赤色で点滅します。



多点オート時 (P.70)



1 点時 (P.69)

- 露出はシャッターボタンを半押ししたときの値が固定されます。
- 連続撮影の場合は、1コマ目の固定されたピント位置で撮影されます。

フォーカスロック撮影

ピントが合ったあと、シャッターボタンを半押ししたまま、構図を変 えて撮影することができます。

メモ

シャッターボタンを半押ししている間に ()ボタンを押すと、中央
 1点のフォーカスフレームで再測距されます。

コンティニュアス AF

動いている被写体向きです。ピントが合ったあと、シャッターボタン を半押ししている間、被写体にピントを合わせ続けます。

- ピントが合うと、フォーカスフレームが緑色で点灯し、シャッター ボタンを半押ししている間、被写体にピントを合わせ続けます。
- 一被写体が画面から外れると、再測距され、別の被写体にピント を合わせます。
- ピントが合うまでシャッターが切れません。
- 連続撮影の場合は、AF 作動と撮影が繰り返されます。2 コマ目 以降はレリーズが優先され、ピントが外れた状態で撮影されることがあります。
- 露出は、シャッターボタンを押し込んだときの値で撮影されます。
 (動画の記録中は、常に標準露出になるよう制御されます。)
- フォーカスフレームの設定が「多点オート」での動画撮影では、 基本的に補足した被写体にピントを合わせ続けますが、画面中 央にある被写体が重視され、対象が移動することがあります。
- フォーカスフレームの設定が「1点」の場合、動画の記録中は、 フォーカスフレームのある位置でピントを合わせ続けます。シャッ ターボタンの半押し中に被写体が動くと被写体を追い続けま す。動画の記録中もシャッターボタン半押しを維持してください。 シャッターボタンから指を離すと、元のフォーカスフレームの位置 でピントを合わせ直します。
- フォーカスはロックされません。
- 合焦音は鳴りません。

ご注意 !!

被写体の条件によっては、合焦精度が落ちる場合があります。

メモ

- シャッターボタンを半押ししている間に ④ ボタンを押すと、中央 1点のフォーカスフレームで再測距され、被写体にピントを合わ せ続けます。

常時 AF

動画モードのみ

シャッターボタンを半押しなくても AF が作動し、動画の記録中も AF が作動し続けます。

- シャッターボタンを半押しし、ピントが合うとフォーカスフレーム が緑色で点灯、シャッターボタンを半押ししている間、被写体に ピントを合わせ続けます。
- 被写体が画面から外れると、再測距され、別の被写体にピント を合わせます。
- フォーカスフレームの設定が「多点オート」での動画撮影では、 基本的に補足した被写体にピントを合わせ続けますが、画面中 央にある被写体が重視され、対象が移動することがあります。
- フォーカスフレームの設定が「1点」の場合、動画の記録中は、 フォーカスフレームのある位置でピントを合わせ続けます。シャッ ターボタンの半押し中に被写体が動くと被写体を追い続けま す。動画の記録中もシャッターボタン半押しを維持してください。 シャッターボタンから指を離すと、元のフォーカスフレームの位置 でピントを合わせ直します。
- フォーカスはロックされません。
- 合焦音は鳴りません。

ご注意!!

- 常にレンズのフォーカス機構が作動しているため、バッテリーの 消耗が早くなります。バッテリー残量にご注意ください。
- 被写体の条件によっては、合焦精度が落ちる場合があります。

メモ

- シャッターボタンを半押ししている間に ④ボタンを押すと、中央 1点のフォーカスフレームで再測距され、被写体にピントを合わ せ続けます。

フォーカスフレームの設定

動く被写体、静止した被写体など、被写体の状況に合わせて、最 適なフォーカスフレームの設定ができます。

「AF モード」 画面で、 🔷 ボタンで選びます。



D 1-POINT	1点
	多点オート (初期設定)

1点

フォーカスフレームを任意の位置に設定してピントを合わせます。被 写体の位置が定まっている場合に有効です。

フォーカスフレームの移動

「AF モード」 画面で、 ● ボタンを押すと、フォーカスフレームを移 動できます。



- 〈 ジボタンで各方向に移動できます。
- ダイヤルで一定の順序で移動できます。
- タッチ操作(タップ、ドラッグ)でも移動できます。移動直後に 再測距されます。動画の記録中も移動が可能です。

多点オート

カメラが最適なフォーカスフレームを選んでピントを合わせます。動 いている被写体や、被写体が中央にない場合に有効です。

自動追尾モード

多点オート設定時に、画面内のピントを合わせたい被写体をタップ すると、シャッターボタンを半押ししなくても、その被写体にピント を合わせ続けます。(自動追尾モード)

- 自動追尾中は、グレーのフォーカスフレームが表示されます
- 動画の記録中も自動追尾モードが使用できます。
- 追尾している被写体が、一定時間画面から外れると、追尾が停止します。
- 状況によっては、追尾中に違う被写体に乗り移る場合があります。
- 自動追尾モードを解除するには、追尾中の被写体を一定時間画面から外すか、自動追尾解除タップボタンをタップしてください。



ご注意!!

- 以下のときは追尾できない場合があります。
 - 動きが早すぎる被写体
 - 被写体が小さすぎる、または大きすぎる
 - 明るさが変わるシーン
 - 暗いシーン

被写体検出

人物、動物を検出し、優先的にピント合わせます。

「AF モード」画面で、被写体検出のタップボタンをタップし、**く〉** ボタンかダイヤルで設定します。



OFF	検出は行わず、通常の AF モードに します。
© ` '	(初期設定)
人物 + 動物検出	人物と動物を優先的に検出します。
 人物検出	人物を優先的に検出します。
'' 動物検出	動物を優先的に検出します。

- 検出は、被写体の目を優先します。

フォーカスフレームの設定が「多点オート」(初期設定)の場合

 被写体が検出されると、グレーのフォーカスフレームが表示され、 シャッターボタンを半押しするとフォーカスフレームが緑色(合 焦)に変わります。AF C モード、AF C モードでは、その被写 体を追い続けます。
– 複数の被写体が検出されると、設定に応じたガイドアイコンが表示されます。合焦した被写体が意図した被写体ではなかった場合、シャッターボタンを半押ししたまま、(>) ボタンで異なる被写体のフォーカスフレームに移動できます。



フォーカスフレームの設定が「1点」の場合

- 通常通り、フォーカスフレームある位置でピントを合わせます。 人物、動物が検出されている場合、グレーのフォーカスフレーム が表示されます。シャッターボタンを半押ししたまま、 マ異なる被写体のフォーカスフレームに移動できます。AF C モー ド、AF C モードでは、シャッターボタンの半押し中はその被写 体に追尾を続けます。

ご注意 !!

- 以下の状況では、検出ができない場合があります。
 - サングラス、帽子、前髪などで顔の一部がさえぎられているとき。
 - 暗い、または逆光のシーン。
 - ピントが大きくずれているとき。
 - 被写体の動きが早いとき。

AF シフト

合焦したピント位置が意図しなかった位置だった場合、シャッター ボタンを半押ししたまま、 ◆ ボタンを押すと、再測距を行います。

- ∧ ボタンを押すと、現状のピント位置より遠い側で再測距します。
- 、ボタンを押すと、現状のピント位置より近い遠い側で再測距します。
- AF S モードでフォーカスフレームの設定が「1点」の場合、表示中のフォーカスフレームで再測距します。それ以外の設定では、 最適なフォーカスフレームが選ばれ再測距します。



AF+MF

オートフォーカスでピントを合わせた後、フォーカスリングを回して ピントの微調整ができます。

「AF モード」 画面で、AF+MF のタップボタンをタップし、**〈〉**ボ タンかダイヤルで設定します。



OFF	AF 設定時、フォーカスリングは機能しません。
AF+MF AF+MF (初期設定)	シャッターボタンを半押ししている間、フォー カスリングの操作が可能です。ピントの微調整 後、そのままシャッターボタンを押し込んで撮 影してください。
t <u>AF+MF</u> ↓ 常時 AF+MF	常にフォーカスリングの操作が可能。

メモ

 初期設定では、MFでのピント合わせがしやすいように「MFア シスト表示」が ON になっています。詳細は「アシスト表示」 (P.77)の「MFアシスト表示」の項目をご覧ください。アシス ト表示の設定を変更したい場合は、一旦フォーカスモードを MF して、「MFアシスト表示」の設定を変更してください。

マニュアルフォーカスによるピント合わせ

1

レンズにフォーカスモード切換えスイッチがある場合は、スイッチを MF にします。(レンズにフォーカスモード切換えスイッチが無い場 合はカメラのフォーカスモードを **MP 「マニュアルフォーカス」**にし ます。(P.64))

2

被写体がはっきり見えるようにレンズのフォーカスリングを回してピントを合わせます。

メモ

- 初期設定では、ピント合わせが容易にできるように、「MF アシスト表示」(P.79)が ON になっています。詳細はアシスト表示 (P.77)の項目をご覧ください。

フォーカスピーキング

被写体のピントが合った部分の輪郭を強調して表示します。ピント を合わせるときの目安としてご使用ください。ピーキングは被写体 によって見やすい色を選べます。

「フォーカスモード」画面で、フォーカスピーキングのタップボタン をタップします。



〈〉ボタンかダイヤルで、フォーカスピーキングの色を選びます。

OFF (初期設定)	WH (白)	BK(黒)	R (赤)
YE(黄)	C(シアン)	B(青)	M (マゼンタ)

◆ボタンでフォーカスピーキングの感度を設定します。 設定範囲は±3段です。標準が0、+側にすると表示範囲が広くなり、
-側にすると表示範囲が狭くなります。

フォーカスピーキングの色は、アシスト表示のフォーカスピーキング(P.78)と共通の設定になります。

アシスト表示 アシスト表示画面



- 1. フォーカスピーキングタップボタン 2. 表示残時間
- 3. 撮影距離
- 4. 拡大位置表示
- 5. スケールバー
- 6. 無限遠位置
- 7. 最短距離位置

AF-S アシスト表示

AF 合焦後、シャッターボタン半押し中に、拡大表示とフォーカスピー キング表示で、ピントの状態を確認することができます。

「AF S モード」画面で、AF S アシスト表示のタップボタンをタッ プします。



Q 4x

⟨> ボタンかダイヤルで、シャッターボタン半押し中のアシスト表示の表示時間を選びます。

OFF (初期設定)	アシスト表示しません。
1s	約1秒間表示します。
2s	約2秒間表示します。
5s	約5秒間表示します。
HOLD	半押し中、表示し続けます。

◆ボタンでフォーカスピーキングの色を選びます。

OFF	WH (白)	BK(黒)	R(赤) (初期設定)
YE(黄)	C(シアン)	B(青)	M (マゼンタ)

- 拡大表示の拡大率は、アシスト表示中にダイヤルで変更できます。

Q.1X Q.2X Q.4X (初期設定) Q.8X

- 合焦したフォーカスフレームを中心に拡大表示されます。

MF アシスト表示

マニュアルフォーカスモード時、フォーカスリングを操作する、もし くは画面の任意のポイントをタップすると、拡大表示とフォーカス ピーキング表示で、よりピントが合わせやすくなります。

「MF モード」 画面で、 MF アシスト表示のタップボタンをタップします。



<> ボタンかダイヤルで、シャッターボタン半押し中のアシスト表示の表示時間を選びます。

OFF	アシスト表示しません。
1s	約1秒間表示します。
2s (初期設定)	約2秒間表示します。
5s	約5秒間表示します。
HOLD	半押し中、表示し続けます。

表示時間は、フォーカスリング未操作、もしくはフォーカスリングの操作を止めてからの時間です。

◆ ボタンでフォーカスピーキングの色を選びます。

OFF	WH(白)	BK(黒)	R (赤) (初期設定)
YE(黄)	C(シアン)	B(青)	M (マゼンタ)

- 拡大表示の拡大率は、アシスト表示中にダイヤルで変更できます。

Q 4x

(初期設定)	Q, 1X	Q, 2X	Q 4X (初期設定)	Q, 8X
--------	-------	-------	-----------------------	-------

 一 画面の中央を中心に拡大表示されます。、画面をタップした場合 はタップしたポイントを中心に拡大表示されます。

ご注意!!

- フォーカスリング操作による拡大表示、撮影距離表示、スケール バー表示は、対応レンズでのみ表示されます。

メモ

- アシスト表示中、表示終了までの時間がドット表示されます。
- アシスト表示を途中で通常表示に戻す、もしくは HOLD 中のア シスト表示を通常表示に戻したい場合は、④ ボタンを押します。
- アシスト表示中、フォーカスピーキングのタップボタンでフォーカ スピーキング表示の ON/OFF ができます。
- フォーカスピーキングの色、感度は、フォーカスピーキング (P.76)、AF-S アシスト表示、MF アシスト表示で共通の設定 になります。
- 拡大率は、AF-S アシスト表示と MF アシスト表示で共通の設定 になります。表示時間はそれぞれ個別に設定できます。

フォーカスリング回転角

マニュアルフォーカス時の、フォーカスリングの回転角度に対するピントの移動量を変更できます。

「MB モード」画面で、フォーカスリング回転角のタップボタンをタッ プします。



- 設定画面に、装着レンズ名、設定できる角度範囲が表示されます。

⟨♪ ボタンかダイヤルで、回転角を選びます。

AUTO (初期設定)	フォーカスリングの回転速度に応じて、ピント の移動量が変化します。
90° ~ 720°	おおよその無限遠から最短撮影距離の角度
MAX	そのレンズで設定できる最大角度

- ▲ の付いている角度は、対応していません。

ご注意!!

- 対応レンズのみ設定可能です。

フォーカスリミッター

フォーカスの作動範囲を制限して AF の速度を速めます。

「AF モード」 画面で、フォーカスリミッターのタップボタンをタップし、
 ◆> ボタンかダイヤルで設定します。



OFF (初期設定)	作動範囲を制限しません。
₩ *	ほぼ中央から近距離側のみ作動します。
▲ ※	ほぼ中央から遠距離側のみ作動します。

※ 設定画面に作動範囲の距離が表示されます。

ご注意 !!

対応レンズのみ設定可能です。詳しくはレンズの説明書を参照してください。

レンズ AFL ボタンの機能

AFL ボタンを搭載したレンズの、AFL ボタンの機能をカスタマイズ できます。

「AF モード」 画面で、レンズ AEL ボタンの機能のタップボタンをタッ プし、 〈〉 ボタンかダイヤルで設定します。



AFL	AF 作動中に AFL ボタンを押すと、AF がストッ	
(初期設定)	プします。※	
AF-ON	AFL ボタンを押すと、AF が作動します。	

※ AF ロック中は AFL アイコンが表示されます。



手ブレ補正

手ブレ補正機能の設定をします。

メインメニューの「手ブレ補正」で設定します。

((**1**)) OFF

電子式手ブレ補正

動画モード専用の機能です。前後の複数フレームを合成しながらブ レを軽減した映像を生成します。

((@)) OFF	OFF (初期設定)	手ブレ補正機能を OFF にします。
(đes)	電子式 手ブレ補正	電子式手ブレ補正機能を ON に します。

レンズ内光学式手ブレ補正

手ブレ補正機能を搭載したレンズの ON/OFF ができます。レンズ 側に手ブレ補正のスイッチ(OS スイッチ等)がある場合はレンズ 側のスイッチを操作してください。

レンズ内光学式手ブレ補正機能の詳細については、レンズの使用説明書をご覧ください。

- 手ブレ補正スイッチのないレンズの場合、静止画モード時はメイ ンメニューに「手ブレ補正」の項目が追加されます。

((亡)) OFF	OFF	手ブレ補正機能を OFF にします。
((OS))	レンズ内光学 式手ブレ補正 (初期設定)	レンズ内光学式手ブレ補正機能 を ON にします。

- 手ブレ補正のスイッチないレンズの場合、動画モード時は「手ブレ補正」の項目に「レンズ内光学式手ブレ補正」の選択肢が追加されます。

((白)) OFF	OFF	手ブレ補正機能を OFF にします。
((OS))	レンズ内光学 式手ブレ補正 (初期設定)	レンズ内光学式手ブレ補正機能 を ON にします。
(đes)	電子式 手ブレ補正	電子式手ブレ補正機能を ON に します。

ご注意 !!

- 電子式手ブレ補正とレンズ内光学式手ブレ補正は併用できません。レンズ側の手ブレ補正スイッチを ON にすると、電子式手ブレ補正が選べません。
- 三脚等でカメラを固定して撮影する際は、電子式手ブレ補正を「切」にしてください。
- 電子式手ブレ補正使用時は、X1.25 (DC レンズ装着時は X1.96) にクロップされた範囲で記録されます。

画像の設定

記録される静止画の、記録フォーマット、アスペクト比、クロップモー ドの設定します。

記録フォーマット

画像の形式を選びます。

メインメニューの「記録フォーマット」で設定します。

JPEG

DNG+J	DNG+JPEG	DNG(RAW 形式)と JPEG 形 式の同時記録
DNG	DNG	DNG(RAW 形式)
JPEG	JPEG (初期設定)	JPEG 形式

 ー 画像サイズは 6,016 x 4,012 (3:2 時) で記録されます。3,840
 x 2,560 (DC クロップモード、3:2 時) になります。

メモ

 DNG(RAW 形式)は、素材性を重視した記録方式です。
 SIGMA Photo Pro 等よる現像作業が必要です。SIGMA Photo Proは、弊社ウェブサイトより無料ダウンロードいただけます。SIGMA Photo Proは、常に最新のバージョンにすることをお勧めします。

sigma-global.com/jp/support/software/

- カメラで DNG 画像から JPEG 形式を作成することもできます。
 「DNG 現像」(P.134) をご覧ください。
- DNG は、アドビシステムズ株式会社(Adobe Systems Incorporated)が開発した RAW 形式の画像データです。

アスペクト比

画像のアスペクト比(横縦比)を設定します。

メインメニューの「アスペクト比 + DC クロップモード」で、**〈〉**ボ タンかダイヤルで設定します。

3:2

21:9	映画用ワイドスクリーンとほぼ同等の横縦比で す。
16:9	ハイビジョンテレビと同じ横縦比です。
3:2 (初期設定)	35mm フィルムカメラと同じ横縦比です。
ASIZE	一般的な用紙サイズ A 判と同じ横縦比です。
4:3	従来のテレビやパソコン画面と同じ横縦比で す。
6x7	6 × 7 版カメラとほぼ同じ横縦比です。
1:1	6 × 6版カメラで撮影したような正方形の横 縦比です。

各横縦比の画像は、本機の基本横縦比 3:2 の画像からカットして作られます。

メモ

DNG 画像は、SIGMA Photo Pro やカメラの DNG 現像で他のアスペクト比に変更できます。

DC クロップモード

APS-C フォーマット用レンズを装着すると、自動的に撮像素子の記 録範囲を切り替えます(オートクロップ)。手動で記録範囲を切り 替えることもできます。



DC クロップモード時は、DC クロップモードアイコンが表示されます。

3:2 DC

フルサイズ用レンズ装着時に、手動でDCクロップモードにすると、画像の周辺部がカットされ、約1.57倍の望遠効果が得られます。

「アスペクト比 + DC クロップモード」画面で、オートクロップのタッ プボタンをタップして、「オートクロップ OFF」にします。

∧ ボタンで「DC1.57x」に設定します。

- DC クロップモード時の画像サイズは、3,840 x 2,560 (3:2 時)
 で記録されます。
- 動画の解像度は、DC クロップモード時でも変わりません。
- APS-Cフォーマット用レンズを装着時に、手動でDCクロップ モードをOFF(1x)にすることもできます。ただし、画像周辺 部が黒くケラレたり、充分に解像しない場合があります。

ご注意!!

- 通常は「オートクロップ ON」でご使用ください。
- レンズによっては、手動で記録範囲を切り替えられないものもあります。
- オートクロップが機能しないレンズもあります。その場合は手動 で切り替えてください。

画像のファイルサイズ

各記録フォーマット・アスペクト比の組み合わせによる1画像あたりのおおよそのファイルサイズ(MB)は以下のようになります。

- ファイルサイズは被写体によって変化します。

DC クロップモード OFF (1X)

アスペクト比	記録画素数	DNG	JPEG
21:9	16M (6016 × 2580)	35	11
16:9	20M (6016 × 3384)	46	14
3:2	24M (6016 × 4012)	54	16
ASIZE	23M (5672 × 4012)	51	16
4:3	21M (5348 × 4012)	49	15
6x7	20M (4980 × 4012)	45	14
1:1	16M (4012 × 4012)	37	11

DC クロップモード ON (1.57X)

アスペクト比	記録画素数	DNG	JPEG
21:9	6.3M (3840 × 1648)	15	5
16:9	8.3M (3840 × 2160)	19	6
3:2	9.8M(3840 imes 2560)	22	7
ASIZE	9.3M (3616 × 2560)	21	7
4:3	8.7M (3408 × 2560)	20	6
6x7	8.2M (3184 × 2560)	19	6
1:1	6.6M (2560 × 2560)	15	5

動画の設定

メインメニュー「動画モード」画面で記録フォーマットの設定、「映 像記録設定」画面で解像度とフレームレートを設定します。

記録フォーマット

動画の記録形式を設定します。

メインメニューの「動画モード」で設定します。

💾 Н.264

H.264	H.264 動画 互換性優先フォーマット (初期設定)	汎用性が高く、様々な環境 で見ることができます。
H.265	H.265 動画 高効率フォーマット	高圧縮率と高画質を実現し たフォーマットです。
L-LOG	L-Log 動画 編集用フォーマット	ダイナミックレンジが広く、 編集を前提としたフォーマッ トです。

- いずれも MOV 形式です。

L-LOG 動画と LOG ガンマアシスト表示について

L-Log 動画は、撮影後の編集を前提としたフォーマットなため、コ ントラストが低いライブビュー画面になります。編集後のイメージを つかみやすいように、709 ルックを再現したライブビュー画面で撮 影することができます。

動画モードを「L-Log 動画」に設定すると、メインメニュー「カラー モード」が「Log ガンマアシスト表示」に変わります。

LOG	L-Log ビュー (初期設定)	L-Log ガンマをそのまま表示するライ ブビュー画面になります。
(709)	709 ルック ビュー	709 ルックを再現したライブビュー画 面になります。

- Log ガンマアシスト表示は、記録される画像には影響しません。

ご注意!!

- L-Log 動画は、カラーモード (P.100) を設定することができません。
- 709 ルックビューは、露出確認ツールとの併用はできません。

映像記録設定

メインメニューの「映像記録設定」で設定します。

UHD 29.9

「映像記録設定」画面で、<>> ボタンで「解像度」「フレームレート」 を選び、 ◆ ボタンかダイヤルで設定します。

解像度

動画の解像度(サイズ)を設定します。

6K	6,016 x 3,384
UHD(初期設定)	3,840 x 2,160
FHD	1,920 x 1,080

- 6K は、下記設定とは併用できません。

H.264、	電子手ブレ補正、	DC クロップモード	
--------	----------	------------	--

フレームレート

フレームレート(1秒あたりのコマ数)を設定します。 - 解像度により、設定できるフレームレートに制限がでます。

	23.98 FPS	25 FPS	29.97 FPS	50 FPS	59.94 FPS	100 FPS	119.88 FPS
6K	0	0	0	_	-	_	—
UHD	0	0	0	_	-	_	—
FHD	0	0	0	0	0	0	0

〇:設定可 一:設定不可

ビットレート

各映像記録の設定の組み合わせによる動画のビットレート (Mbps) は、以下のようになります。

解像度	フレームレート (fps)	H.264	H.265	L-LOG
	23.98	_	200	200
6K	25	—	200	200
	29.97	—	200	200
	23.98	150	150	150
UHD	25	150	150	150
	29.97	150	150	150
	23.98	100	100	100
	25	100	100	100
	29.97	100	100	100
FHD	50	100	100	100
	59.94	100	100	100
	100	150	150	150
	119.88	150	150	150

ホワイトバランスの設定(WB)

通常、ホワイトバランスは自動調整されますが、思い通りの色にならない場合は、プリセットされたホワイトバランスから設定できます。

メインメニューの「ホワイトバランス」で設定します。

AWB

	モード	色温度	内容
AWB	オート (初期設定)	-	自動で調整されます。通 常はこのモードにセットし てください。
А <u></u> МВ	オート (色残し)	_	光源の色味を残し、その 場の雰囲気を残した調整 がされます。
· .	白熱電球	約 3000K	白熱電球の照明下
***	蛍光灯	約 4100K	白色蛍光灯下
K	マニュアル	_	色温度を数値で設定し、 ホワイトバランスを調整し ます。
۲	晴れ	約 5400K	晴天の屋外
	曇り	約 6500K	曇天の屋外
	日陰	約 8000K	晴天の屋外の日陰
	カスタム	_	実際に取り込んだ画像を 基準とし、ホワイトバラン スが設定されます。

ご注意!!

- **K** (マニュアル)は、「ホワイトバランス」画面でのみ選択できます。

ホワイトバランスの微調整

各プリセットされたホワイトバランスに対し、微調整することができ ます。

1

「ホワイトバランス」画面で、任意のホワイトバランスを選び、 ズタンで「ホワイトバランス微調整」画面を表示させます。

2

⟨♪ ボタンかダイヤルで色温度、
◇ ボタンで色合い (M-マゼンタ、 G-グリーン)を調整します。

3

- ボタンか、シャッターボタンを半押しして確定します。
- 一 微調整されたホワイトバランスは、(K) (マニュアル)となり、メインメニュー「ホワイトバランス」には、調整値で表示されます。

5000K

ご注意!!

 マニュアル)は、複数個保存できません。常に最後に調整 を行ったホワイトバランスで上書きされます。

メモ

-「ホワイトバランス」画面のプリセットホワイトバランスは、色温 度順に並んでいます。 (くてニュアル)は、調整値によって位 置が変わります。

オートホワイトバランスの微調整

オート、オート(色残し)に対して微調整を行うと、カメラが適正 と判断した値に、調整量を加味したホワイトバランスが設定されます。

カスタムホワイトバランスの設定

取り込んだ画像を基準として、ホワイトバランスを設定できます。

1

「ホワイトバランス」画面で、 🚨 を選びます。

2

実際に撮影を行いたい照明下で、基準にしたい白い被写体(白い 紙や、白い壁など)を画面中央のフレームに入れ、④ ボタンを押 します。

取得に成功すると、フレームが黄色に変わります。取得が失敗する と、フラームが赤で点滅します。再度④ ボタンを押してください。

3

▲ ボタンで設定を完了させ、撮影します。

- 取得したカスタムホワイトバランスは色温度・色合いの数値で表示され、ホワイトバランスの列に並びます。
- カスタムホワイトバランスは、10 個まで保存できます。制限を超 えるとメッセージが表示されますので、不要なカスタムホワイト バランスを消去してから取得してください。
- カスタムホワイトバランスも微調整することができます。

カスタムホワイトバランスの消去

1

「ホワイトバランス」画面で消去したいカスタムホワイトバランスを 選び、消去のタップボタンをタップします。



2

「カスタムホワイトバランスを消去」を選び、 () ボタンを押します。

ホワイトバランスロック

オート、オート(色残し)設定時、一時的にホワイトバランスを固定し、 ー定のホワイトバランスで撮影したいときに便利な機能です。

「ホワイトバランス」画面で、「WB ロック」のタップボタンをタップ する(WB ロック ON)と、そのときのホワイトバランスが固定され ます。



ホワイトバランスロック中は、ロック中のアイコンが表示されます。



 再度「WB ロック」のタップボタンをタップする(WB ロック OFF)まで、ホワイトバランスロックは解除されません。 カラーモード

各撮影シーンに最適な色調、コントラストなどを調整したカラーモー ドを選べます。また、モノクローム調の写真や動画を撮ることがで きます。

メインメニューの「カラーモード」で設定します。

STD.

STD. スタンダード (初期設定)	さまざまなシーンに対応する基本的 なカラーモードです。		
RICH	高い彩度と明るいブルーが特徴で、		
リッチ	色彩豊かな仕上がりになります。		
CALM	コントラストが低く設定され、淡く落		
カーム	ち着いた雰囲気を演出します。		
Pow B.	爽やかなブルーが特徴的で、明るく		
パウダーブルー	透明感のある印象に表現します。		
W.GLD	落ち着いたトーンと暖色系の色調で、		
ウォームゴールド	深みのある雰囲気を表現します。		
T&O	肌色などのオレンジ系と、補色の青		
ティールアンドオレンジ	緑を強調し、印象的に表現します。		
FOV B.	深みのある青色を表現し、印象的な		
FOV クラシックブルー	青空を再現します。		
FOV Y. FOV クラシック イエロー	黄色方向の色味が強調され、深みの ある印象的な色調を再現します。		
FOR G.	緑の色再現を強調し、草木などの緑		
フォレストグリーン	をより印象的に表現します。		
SUN R.	赤の色再現を強調し、夕焼けなどの		
サンセットレッド	シーンをより印象的に表現します。		
CINE.	彩度を抑え、シャドウを強調し、映		
シネマ	画のようなイメージを再現します。		

709 709 ルック	L-Log 撮影時の 709 ルックビューを カラーモードにしました。人間の視 覚に近い色味を再現しています。
MONO.	モノトーンの写真を撮ることができま
モノクローム	す。

メモ

 MONO.(モノクローム)で撮影されたDNGデータは、 SIGMA Photo Proではモノクロームモードで開かれます。 SIGMA Photo Proでカラー画像に戻すこともできます。(JPEG データはカラー画像には戻せません。)

ご注意 !!

- DNG データをアドビシステムズ社製ソフトウエアで現像する際、 ソフトウエアのバージョンによってはカラーモードの設定が反映 されない場合があります。最新の情報をご確認ください。

カラーモード詳細設定

各カラーモードに対し、好みの画像に仕上がるように画像のパラ メーター(効果量、ハイライト、シャドウ、フェード、ビネット)を 調整することができます。

調整したいカラーモードで、**〈〉**ボタンでパラメーターを選び、 、 ボタンで調整量をセットします。

効果量(モノクローム除く)

それぞれのカラーモードの特徴をより強調したり、控えめにするこ とができます。プラスにすると効果が強く、マイナスにすると効果が 弱まります。

- 効果量を調整するとメインメニュー「カラーモード」に、調整値 が表示されます。

ハイライト

画像の明るい部分(ハイライト)の調整ができます。プラスにする と明るく、マイナスにすると暗くなります。

シャドウ

画像の暗い部分(シャドー)の調整ができます。プラスにすると明 るく、マイナスにすると暗くなります。

フェード

黒を持ち上げて、ソフトな印象の画像にします。プラスにするほど、 よりソフトな印象になります。 ビネット

レンズの周辺減光を再現し、中央の被写体を際立たせます。プラス にするほど、周辺減光効果が強くなります。

調色(モノクロームのみ)

カラーモードをモノクロームにすると、「**効果量」**が「**調色」**に変わります。色味のついたモノクロ画像に仕上げることができます。

BW 白黒 (初期設定)	R 赤	WT 温黒調	SEP セピア	G 緑
BG	B	CT	BP	P
青緑	青	冷黒調	青紫	紫

メモ

 DNG データは、SIGMA Photo Pro でもカラーモードの変更や パラメーターの調整ができます。

フィルター効果(モノクロームのみ)

モノクロ画像にコントラストの変化を与えることができます。フィル ターの色に対して、同色系の色が明るく、補色系の色が暗く表現さ れます。

カラーモードをモノクロームにすると、メインメニュー「ホワイトバ ランス」が「フィルター効果」に変わります。

OFF	R	OR
切(初期設定)	赤フィルター	オレンジフィルター
YE	G	B
黄色フィルター	緑フィルター	青フィルター

- 通常は OFF に設定してください。

オールドレンズを楽しむ

マウントアダプターを介したレンズや、補正情報を持たないレンズに、 カラーシェーディング補正を効かせたり、レンズの焦点距離情報な どを画像情報に記録することができます。

カラーシェーディング補正

カラーシェーディング(画面周辺に色が付く現象)を補正できます。

レンズ情報を入力する

1

カメラとの通信情報を持たないレンズを装着すると、メインメニュー のフォーカスモードに「No Lens」と表示されます。

2

フォーカスモードを選択し、 > ボタンで「Lens+」を選びます。

3

ボタンやダイヤルで、レンズ情報を入力します(最後のケタに A~Zの記号が付けられます)。



この状態で撮影すると、入力した情報が画像情報に記録されます。カラーシェーディング補正をかけたい場合は、手順4に進みます。

補正画面を取り込む

4

レンズ情報を入力した後、 > ボタンを押すとメッセージが表示され ます。白かグレーなどの色味の無い均一な面を画面いっぱいに収 め、 ・ ボタンを押します。

- 補正が成功すると、右端の四角いアイコンが白に変わります。



 補正データをリセットしたい場合、補正データリセットのタップボ タンを押し、「補正データをリセット」を選び、
 ボタンで確定 します。



- 次にLマウントレンズに交換するまで、同一データにて撮影・記録が継続されます。
- 他のレンズを登録したい場合は、手順2~4を繰り返してください。
- 再度、登録済のレンズで撮影したい場合は、フォーカスモードを 選択し、> ボタンで該当レンズを選んでください。
- 該当レンズを選択後、 へ ボタンを押すと、レンズ情報の修正、 補正データの消去、補正データの再取得が行えます。
- 登録済みのレンズ情報を消去したい場合、該当レンズを選択
 後、消去のタップボタンをタップし、「登録レンズを消去」を選び、

 ボタンで確定します。



ウェブカメラとして使用する

本機をウェブカメラとして活用することができます。

1

市販の USB Type-C ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。 - 「USB モード選択」画面が表示されます。

2

▶ボタンを押して「UVC」を選び、④ボタンを押します。

- 必要に応じて、各モードを切り替えてご使用ください。
- 設定できない項目は、濃いグレーで表示されます。
- システムメニューは、設定できません。
- カメラ、マイクの設定は、お使いのソフトウェアのヘルプ等をご 参照ください。
- お使いのソフトウェアによっては、カメラ側で解像度等の設定を 行う場合があります。その場合は接続前に設定を行ってください。
- 以下のボタンは操作できません。



 – UVC モードは解除するには、オプションメニュー「USB モード 選択」で、「UVC を終了」選んで、④ ボタンを押します。

オプションメニュー

撮影時には、撮影に便利な機能、再生時には画像の消去や再生画 像に関わる機能の設定ができます。

ライブビュー中に 🚥 ボタンを押すと、撮影に関するオプションメ ニューが表示されます。



画像の再生時に •••• ボタンを押すと、画像の消去や再生画像に関するオプションメニューが表示されます。



1. 消去

6. 撮影距離

- 2. 回転
- 3. ロック
- 4. ファイル選択
- 5. DNG 現像
- 6. ファイル表示設定



- 7. モニター設定
- 8. サウンド設定
- 9. マイク設定
- 10. USB 接続
選択肢が複数あるオプションは、それぞれの項目を参照してください。

撮影情報

ライブビュー中に、露出エリアとカラーモードの情報(動画モード 時のバッテリー残量、時刻、記録可能時間含む)を表示します。

OFF ON

センターマーク

画面の中心を示すセンターマークを表示できます。



ガイドライン

構図の決定に役立つ2種類のガイドラインを用意してます。

OFF	グリッド線	アスペクト比
-----	-------	--------

- ダイヤルで希望のガイドラインを選びます。

- OFF はガイドラインを表示しない設定です。

グリッド線

格子状のガイドラインを表示します。数字は画面の水平方向と垂直 方向の分割数です。

 「グリッド線」を選び () ボタンを押し、 (、ボタンで希望の分割 数を選びます。

2 × 2	3 × 3	4 × 4
-------	-------	-------

アスペクト比

異なるアスペクト比などを考慮した撮影を行う際、構図決定に便利 なフレームガイドを表示することができます。

 「アスペクト比」を選び ④ ボタンを押し、 ポタンで希望のア スペクト比を選びます。

1.33:1 1.05:1 2.39:1

水準器

カメラの水平方向と垂直方向の傾きを表示します。

OFF ON	
--------	--



^{1.} 水平方向指標

2. 垂直方向指標

カメラが水平、垂直になると、指標が緑色に変わります。

焦点距離

装着レンズの焦点距離、ズームレンズの場合はズームリングの操作 に応じた焦点距離を表示します。



OFF	ON
-----	----

撮影距離

撮影距離(ピント位置)の表示をします。



OFF

ON

モニター設定

液晶モニターの明るさと色合いを調整できます。

明るさ

周辺の明るさに応じて、見やすい明るさに調整できます。

「モニター設定」を選び、ダイヤルで見やすい明るさに設定します。 もしくは「モニター設定」画面で、**く>** ボタンかダイヤルで設定します。

– 明るさは0~5の6段階で設定できます(3が初期設定です)。

屋外明るさ補正

太陽光下などの明るい場所で、自動的にモニターの明るさをアップ します(初期設定)。

「屋外明るさ補正」のタップボタンをタップして、「屋外明るさ補正 ON」にします。



LCD オフモード

撮影中やカメラを操作していないときに、液晶モニターを消灯する モードです。天体撮影などに便利です。

「LCD オフモード」のタップボタンをタップして、「LCD オフモード ON」にします。



- 「LCD オフモード ON」時における通常使用時の明るさも別途 設定できます。
- 消灯中に、各ボタン、ダイヤルを操作すると、約3秒間液晶モ ニターが点灯します。
- 再生時、拡大表示、各メニュー表示時は消灯しません。

色合い

画面の色合い「**赤み」「青み」**を調整できます。

「色合い」のタップボタンをタップして、**〈〉**ボタンで赤み「RED」、 青み「BLUE」を選択、<mark>◇</mark> ボタンかダイヤルで調整します。



- 通常は ±0 にしてください。

スリープタイマー スリープモード (P.29) に移るまでの時間を設定できます。

「スリープモード」のタップボタンをタップして、

く> ボタンかダイヤ

ルで設定します。



OFF	10 sec.(初期設定)	
30 sec.	1 min.	
5 min.	10 min.	

-「OFF」はスリープモードに移行しない設定です。

ご注意!!

スリープタイマー「OFF」に設定すると、オートパワーオフ(電源 OFF)も行われません。バッテリーの消耗にご注意ください。

サウンド設定

各音量の設定をします。

スピーカー音量の設定

「サウンド設定」を選び、ダイヤルで音量を設定します。 もしくは「サウンド設定」画面で、

く>ボタンかダイヤルで設定します。

音量は0~5の6段階で設定できます(3が初期設定です)。 0は音を鳴らさない設定です。

各音量の設定

「サウンド設定」画面で、へボタンを押して、く>ボタンで選択します。

シャッター音量	AF 合焦音量
REC 音量	タイマー音量

♪ ボタンで音量を設定します。

- 0~100%の5段階で設定できます。
- 0は音を鳴らさない設定です。
- スピーカー音量が0になっていると、すべての音が鳴りません。

マイク設定

入力中の音声をオーディオメーターで確認しながら、内蔵マイクの 感度調整ができます。

- 動画モードでのみ調整できます。

「マイク設定」を選び、ダイヤルで感度を調整します(AUTO 設定 中は調整できません)。

もしくは「マイク設定」画面で、く〉ボタンかダイヤルで調整します。

- 感度は 3dB ピッチで、+6dB ~ -36dB の範囲で調整できます。

- AUTO は、カメラが最適な感度に調整します(初期設定)。

風音キャンセラー

風によるノイズを減らすことができます。

「マイク設定」 画面で、「風音キャンセラー」 のタップボタンをタップし、 「風音キャンセラー ON」 にします。



USB 接続について

このカメラは、様々な USB 機器が接続できます。接続する USB 機器によって、オプションメニューの「USB 接続」で設定できる内 容が変わります。

設定項目名・接続機器			ページ
	マスストレージ	-	137
USB モード選択 (パソコン)	UVC	Q	106
(()))	(キャンセル)	-	24
USB マイク設定		Ŷ	117
USB ストレージ		*	138
USB 撮影情報(USB モニター)		i	117
ケーブルレリーズ		i	-
USB ヘッドホン		Ģ	118
USB ヘッドセット設定		٩ ^٢	119
USB 給電(充電器 / モバイルバッテリー)		4	24

USB マイク設定

USB 接続の外部マイクの感度調整ができます。 - 動画モードでのみ調整できます。

「USB マイク設定」を選び、〈〉ボタンで感度を調整します。 もしくは「USB マイク設定」画面で、〈〉ボタンかダイヤルで調整 します。

- AUTO の設定はありません。
- 風音キャンセラーの設定はありません。

ご注意!!

- 機器によっては、マイク感度の調整ができないものもあります。

USB 撮影情報

USB モニターを使用する際、モニターに撮影情報を表示するか、 しないかを設定できます。

USB ヘッドホン

ヘッドホン音量の設定をします。

- 撮影時は、動画モードでのみ設定できます。
- 撮影時と再生時で、別々に音量を設定できます。

「USB ヘッドホン」を選び、ダイヤルで音量を設定します。 もしくは「USB ヘッドホン」画面で、<>> ボタンかダイヤルで設定 します。

音量は0~5の6段階で設定できます(3が初期設定です)。 0は音を鳴らさない設定です。

ご注意!!

- 機器によっては、音量の設定ができないものもあります。

USB ヘッドセット

ヘッドセットのマイク感度と、ヘッドホン音量の設定をします。

- 撮影時は、動画モードでのみ設定できます。
- 撮影時と再生時で、別々に音量を設定できます。

ヘッドセットのマイク感度調整

「USB ヘッドセット」を選び、ダイヤルで感度を調整します。 もしくは「USB ヘッドセット」画面で、く> ボタンかダイヤルで調 整します。

ヘッドセットのヘッドホン音量設定

「USB ヘッドセット」画面で、 🗘 ボタンで音量を設定します。

音量は 0 ~ 5 の 6 段階で設定できます(3 が初期設定です)。 0 は音を鳴らさない設定です。

メモ

ヘッドセットのマイク音と、内蔵マイク音は、別トラックに記録されます。

ご注意!!

機器によっては、マイク感度の調整、ヘッドホン音量の設定ができないものもあります。

画像の再生 / 消去 / 保存

静止画を再生する

1画像再生

▶ ボタンを押すと画像が再生されます。

ステータスモニターに「ファイル順/ファイル数」が表示されます。
 12/345

- 動画ファイルは、最初のコマが表示されます。

1画像再生中は:

- ダイヤルを回すと、前後の画像が表示されます。
- 〈> ボタンを押す、またはタッチパネルで左右にフリック(ドラッグ) で前後の画像が表示されます。
- 木ボタンを押す、またはタッチパネルで上にドラッグで、撮影情報表示 (P.127) が追加されます。
- マボタンを押す、またはタッチパネルで下にドラッグで、日付別表示 (P.126) に切り替わります。

メモ

- 〈> ボタンを押したままにすると、自動で画像が切り替わります。
 より強く押すと、画像 10 枚とびで送られ、より速く切り替わります。
- 最初と最後の画像はリンクしています。最初の画像でくボタン を押すと最後の画像が表示されます。また、最後の画像で>ボ タンを押すと最初の画像が表示されます。
- 内部ストレージに画像ファイルがない場合は、「画像がありません」とメッセージが表示されます。
- 画像の再生中でも、●ボタンを押すか、シャッターボタンを半 押しすると、すぐに撮影を始めることができます。

ご注意!!

- 以下のような画像ファイルは、再生できない場合があります。
- 他のカメラで撮影した画像ファイル
- ファイル名を変更した画像ファイル
- DCIM フォルダ外の画像ファイル

拡大表示する(静止画のみ)

1 画像再生中に④ ボタンを押すと拡大表示(10x)します。 拡大表示中に● ボタンを押すと等倍表示に戻ります。

1 画像再生中にタッチパネルでピンチアウトすると拡大します。 拡大表示中にタッチパネルでピンチインすると縮小します。

拡大率は以下のように変化します。

等倍→X1.25→X1.6→X2.0→X2.5→X3.15→X4.0→X5.0→X6.3 →X8.0→X10.0

拡大表示中は:

- ダイヤルを右にまわすと拡大、左にまわすと縮小できます。(ダ イヤルでは等倍に戻れません。)
- < > ボタンを押す、またはタッチパネルでフリック(ドラッグ)で 再生部分を移動できます。

ご注意 !!

- 拡大表示中は、画像の切り替えができません。 () ボタンを押す、 またはタッチパネルでピンチアウトして等倍に戻してから切り替え てください。

動画を再生する



動画再生中は、ステータスモニターに残り再生時間が表示されます。

-6:54

動画再生中は…

ボタン / ダイヤル	動作
\odot	一時停止
>	早送り再生
<	逆早送り再生
~	再生音量上げる
~	再生音量下げる
ダイヤル	逆早送り再生 ↔ 早送り再生

ボタンを押すごとに、またはダイヤルを時計方向に回すごとに再 生速度が速くなります。(くボタンを押すごとに、またはダイヤルを 反時計方向に回すごとに減速します。)

再生速度:

 $\begin{array}{l} X1 \rightarrow X1.2 \rightarrow X1.5 \rightarrow X2 \rightarrow X4 \rightarrow X8 \rightarrow X16 \rightarrow X32 \rightarrow X64 \\ \rightarrow X128 \end{array}$

- X1~X2 は音声付で再生されます。
- 逆再生での速度は X1.2 ~ X128 です(音声は再生されません)。

一時停止中は…

ボタン / ダイヤル	動作
\odot	再生
>	コマ送り再生
<	逆コマ送り再生
^	再生音量上げる
\sim	再生音量下げる
ダイヤル	逆コマ送り再生 ↔ コマ送り再生

動画から写真を切り出す

動画ファイルから任意のフレームの写真を作成できます。

1

動画を再生し、写真にしたいフレームで一時停止させます。

- 希望のフレームで止められなかった場合は一時停止中に、ボタンかダイヤルで、コマ送り再生してください。

2

- 画像のサイズは、動画ファイルの「解像度」の設定によります。

6K	6016 × 3384
UHD	3840 × 2160
FHD	1920 × 1080

- 作成された JPEG 画像は、もとの動画ファイルが保存されているフォルダに保存されます。
- 作成された JPEG 画像は、撮影情報 (P.127) に → マークが 表示されます。
- 作成された JPEG 画像のファイル番号は、「C__」で始まり、フォ ルダ内の最後のファイルの次の番号が割り当てられます。

ご注意!!

ストレージに十分な容量が無い場合、警告メッセージが表示され、JPEG保存を実行できません。メッセージに従い、空き容量を確保してください。

日付別表示

その日に撮影した画像が、一覧でサムネイル表示されます。

1 画像再生中に❤ ボタンを押す、 もしくはタッチパネルで下にドラッ グします。



- その日に撮影した、最初から40枚までのサムネイル画像が表示 されます。40枚より多い場合は、最後のサムネイル画像の位置 に、サムネイルで表示しきれない画像の数が表示されます(999 枚以上ある場合は+999と表示されます)。



日付別表示中は:

- ダイヤルを回すと、前後の日付のサムネイル画像が一覧表示されます。
- 〈〉ボタンを押す、またはタッチパネルで左右にフリック(ドラッグ)
 で前後の日付のサムネイル画像が一覧表示されます。

画像情報を見る

撮影時の詳細な情報を見ることができます。

1 画像再生中に / ボタンを押す、またはタッチパネルで上にドラッ グします。

 ・画像情報は3段階あります。
 ・ボタンを押すごとに行が追加されます。





(画像情報をすべて表示した状態)

- 1. 撮影情報
- 2. 撮影日時
- 3. ファイル情報
- 4. ヒストグラム (輝度)
- 5. ヒストグラム(赤)
- 6. ヒストグラム (緑)
- 7. ヒストグラム (青)
- 動画は、撮影情報欄に記録時間が表示されます。
- 動画はヒストグラムが表示されません。

画像情報表示では:

- ダイヤルを回すと、前後の画像が表示されます。
- 〈> ボタンを押す、またはタッチパネルで左右にフリック(ドラッグ)
 で前後の画像が表示されます。
- - ∧ ボタンを押すごとに画像情報の行が減り、1画像再生→日付 別表示になります。
- 動画は ④ ボタンを押す、またはタッチパネルで アイコンを タップすると、動画が再生されます。

ヒストグラム

ヒストグラムは、画像の明るさの分布をグラフ表示にしたものです。 水平軸は明るさのレベルを示し、左方向ほど暗く、右方向ほど明 るくなります。垂直軸は各明るさの画素の登場回数を表しています。 グラフの分布状態を見ることにより、露出の判断の参考にすること ができます。



本機のヒストグラム表示は、輝度(RGBを合わせた値)R(赤)G (緑)B(青)それぞれのレベルを同時に表示するしくみになって います。(露出エリア選択時に表示されるヒストグラムは輝度のみで す。)

ファイルの消去

1

消去したい画像を表示し、 … ボタンを押します。

2

□ 「消去」にカーソルを合わせ、 ④ ボタンを押します。

3

「このファイルを消去」を選び、
・ ボタンを押します。

ご注意 !!

画像がロックされていると、**①「消去」**を選択できません。ロック された画像を消去したい場合は、ロックを解除してください。 DNG+JPG で記録された画像は、DNG 画像、JPEG 画像共に消 去されます。

メモ

 複数のファイルをまとめて消去することができます。「複数ファイ ルをまとめて処理する」(P.132)をご覧ください。

ロック

ロックは、誤って画像を消去することを防ぎます。

警告!!

カードの初期化を行うと、ロックされている画像も消去されます。
 カードの初期化を行うときは十分注意してください。

1

ロックしたい画像を表示し、 •••• ボタンを押します。 2

Om「ロック」にカーソルを合わせ、 ④ ボタンを押します。 - ロックされた画像に **Om** マークが表示されます。



- ー 画像が既にロックされている場合は、「ロック解除」と表示されます。
- ロックを解除するには、ロックされた画像を選び、上記と同じ手順で解除します。
- ロックされた画像は、パソコンでは「読み取り専用」と表示されます。

メモ

 複数のファイルをまとめてロックすることができます。「複数ファ イルをまとめて処理する」(P.132)をご覧ください。

回転

静止画のみ

画像の表示方向を回転できます。

1

回転したい画像を表示し、 … ボタンを押します。

2

- 「回転」にカーソルを合わせ、 ボタンを押します。
- • ボタンを押すたびに、時計回りに 90°回転します。
- カメラで回転させた画像は、SIGMA Photo Pro でも同じ向き で表示されます。

ご注意!!

オプションメニューの「横位置揃え」が「ON」になっていると、
 回転は選べません。

メモ

- 複数のファイルをまとめて回転することができます「複数ファイ ルをまとめて処理する」(P.132)をご覧ください。

複数ファイルをまとめて処理する

以下の処理は、複数のファイルをまとめて実行することができます。

消去	回転	ロック
----	----	-----

ファイルを選択して処理する

1

2

☑ 「ファイル選択」にカーソルを合わせ、 ④ ボタンを押します。

3

<> ボタンで処理をしたい画像を表示させ、 ④ ボタンを押します (✓ アイコンが白くなります)。この操作を繰り返して、処理をした い画像を指定します。

4

 ボタンを押して、いずれかの処理「消去」「回転」「ロック」 を選び、● ボタンを押します。

- 回転は
 イシボタンで回転角度(90°/180°/270°)のいずれかを 選択してください。
- ロックはく>ボタンで(ロック/ロック解除)のいずれかを選択してください。

5

「選択ファイルを・・・」を選び、
 ボタンで確定します。
 − 中止したい場合は「中止」を選び、「中止して終了」を選びます。

日付単位で選択して処理する

1

2

☑ 「ファイル選択」にカーソルを合わせ、 ④ ボタンを押します。

3

<> ボタンで処理をしたい日付を表示させ、④ ボタンを押します(日付左横の→ アイコンが白くなります)。この操作を繰り返して処理をしたい日付を指定します。

4

ボタンを押して、いずれかの処理「消去」「回転」「ロック」 を選び、(・) ボタンを押します。

- 回転は<>> ボタンで回転角度(90°/180°/270°)のいずれかを 選択してください。
- ロックはく>ボタンで(ロック/ロック解除)のいずれかを選択してください。

5

「選択ファイルを・・・」を選び、 (・) ボタンで確定します。

- 中止したい場合は「中止」を選び、「中止して終了」を選びます。

ご注意!!

- オプションメニューの「横位置揃え」が「ON」になっていると、
 回転は選べません。
- ロックされている画像は、削除 / 回転処理が実行されません。
- 動画の回転は実行されません。
- 回転は、すべて現状の角度からの加算角度になります。
- ロック / ロック解除は、現状に関わらず、すべてのファイルがどちらかに統一されます。

DNG 現像

パソコンを使わずに、DNG 形式で記録された画像から、JPEG 形 式の画像を作成することができます。



1

再生モード中にオプションメニューの**ゲ「DNG 現像」**を選びます。 (DNG 形式の画像のみ表示されます。)

2

現像したい画像を表示させ、 💽 ボタンを押します。

3

<> ボタンで調整したい項目にカーソルを合わせ、ダイヤルで調整 値を変更します。(カーソルを合わせ、④ ボタンを押すとそれぞれ の詳細設定画面に移り、詳細な調整が可能です。)

- ● ボタンにタッチする、もしくは押すと、情報表示が隠れ、画像が見やすくなります。

4

変更したい項目が複数ある場合は、手順2を繰り返します。

5

ー通り設定が完了したら、 → (現像実行アイコン)を選び、 ④ ボ タンを押します。 6

「現像」を選び、 ④ ボタンを押します。 中止したい場合は「キャンセル」を選び ● ボタンを押します。

- 作成された JPEG 画像は、もとの DNG 画像が保存されている フォルダに保存されます。
- - 作成された JPEG 画像は、撮影情報 (P.127) に
 <u>↓</u>マークが
 表示されます。
- 作成された JPEG 画像のファイル番号は、「R__」で始まり、フォ ルダ内の最後のファイルの次の番号が割り当てられます。

ご注意!!

- ストレージに十分な容量が無い場合、警告メッセージが表示され、DNG 現像を実行できません。メッセージに従い、空き容量を確保してください。
- より細かな調整が必要な場合は SIGMA Photo Pro での現像を おすすめします。

メモ

- Fill Light: 画像の明るい部分の露出を変えずに、暗い部分にラ イトを追加するような明るさの調整ができます。

ファイル表示設定

再生モード中のオプションメニュー **↓↑ 「ファイル表示設定」**で設定 します。

横位置揃え

画像の表示方向を指定できます。

OFF(初期設定)	撮影時の向きで表示します。
ON	すべての画像を横向きで表示します。

露出警告

露出オーバーで、画像が白く飛んでしまっているハイライト部分を、 赤色で警告表示することができます。

OFF(初期設定)	ON

パソコンに画像を保存する

カメラに記録された画像ファイルをパソコンに転送、保存します。 1

市販の USB Type-C ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。 - 「USB モード選択」画面が表示されます。

2

「マスストレージ」になっていることを確認し、 ④ ボタンを押します。 - もしくはオプションメニューの「USB モード選択」→「マススト レージ」を選択します。

- カメラが USB ドライブとしてパソコンに認識されます。

3

パソコンから、DCIM フォルダ内の画像ファイルが保存されている サブフォルダ、もしくはサブフォルダ内の画像ファイルをコピー、も しくは移動します。

 接続を解除するには、パソコン側からハードウェアの取り出しを 行ってください。

メモ

SIGMA Photo Pro 上で画像の転送ができます。詳細は SIGMA Photo Pro のヘルプをご覧ください。

警告 !!

パソコンがスリープ状態になると、転送中のデータが壊れるおそれ があります。パソコンがスリープ状態に入らない設定にしてください。

USB ストレージに画像を保存する

カメラに記録された画像ファイルを USB ストレージに転送、保存し ます。

USB ストレージをカメラに接続すると、メッセージが表示されます。 「USB ストレージに移動」になっていることを確認し、 ④ ボタンを 押します。

- もしくは、オプションメニューの「USB ストレージ」を選択します。

- 「USB ストレージ」画面で、内蔵ストレージの使用量が確認できます。



а	USB ストレージの総使用量 / USB ストレージの総容量
b	USB ストレージの総使用量

USB ストレージに画像を転送する

画像ファイルを選択して転送、もしくは日付ごとに選択して転送する ことができます。

転送	内蔵ストレージにファイルを残したまま、USB ストレージにファイルがコピーされます。
転送 & 消去	USB ストレージに画像が転送されると、内蔵 ストレージの画像は消去されます。
中止	転送を中止します。

ファイルを選択して転送する

1

「USB ストレージ」画面で、「ファイルの転送」を選択します。

2

「1 画像再生」(P.120) の要領で転送したい画像を表示させ、 ボタンを押します(♪ アイコンが白くなります)。この操作を繰り返 して、転送をしたい画像を指定します。

3

ボタンを押して、「転送」もしくは「転送&消去」を選び、
 ボタンを押します。

4

「選択ファイルを転送」もしくは「選択ファイルを転送 & 消去」を 選び、 ● ボタンを押します。 - 中止したい場合は「キャンヤル」を選びます。

日付単位で選択して転送する

1

「USB ストレージ」画面で、「ファイルの転送」を選択します。

2

✓ ボタンを押す、もしくはタッチパネルで下にドラッグして日付別表示 (P.126) にします。

3

〈> ボタンで転送したい日付を表示させ、 ● ボタンを押します(日付左横の♪ アイコンが白くなります)。この操作を繰り返して転送をしたい日付を指定します。

4

ボタンを押して、「転送」もしくは「転送 & 消去」を選び、
 ● ボタンを押します。

5

「選択ファイルを転送」 もしくは「選択ファイルを転送&消去」を 選び、 ● ボタンを押します。

- 中止したい場合は「キャンセル」を選びます。

ご注意!!

-「キャンセル」を選ぶとファイルは転送されませんが、ファイルが 選択された状態を維持します。転送を完全に中止したい場合は 「中止」→「中止して終了」を選択してください。

USB ストレージの初期化

USB ストレージに空き容量が無い場合など、USB ストレージを初 期化することができます。

警告 !!

カメラからは USB ストレージに記録されているファイルを確認する ことはできません。必要なファイルが残っていないか、パソコン等 で確認してから初期化してください。

「USB ストレージの初期化」→「USB ストレージの初期化」→「完 了」

フォルダ番号、ファイル番号について

撮影されたファイルは、DCIM フォルダ内の、撮影した年月日の名 前の付いたサブフォルダに保管されます。

例えば、2025 年 12 月 5 日に撮影した場合…

フォルダ	サブフォルダ	ファイル番号
	251205_ 0	BF_00001 ~ BF_09999
	251205_ 1	$BF_10000 \sim BF_19999$
DOM	:	:
DCIN	251205_ 9	BF _9 0000 ~ BF _9 9999
	251205A 0	BF_00001 ~ BF_09999
	:	:

- ファイル番号下4桁が9999を超えると、末尾番号の繰り上がった新しいサブフォルダが作成され、そちらに保管が継続されます。
- サブフォルダの末尾番号と、ファイル番号の頭の数字が同じ数字 になります。
- サブフォルダの末尾番号が9を超えると、アンダーバーがアルファベット(A~)になり、末尾番号が0から再開されます。(ファイル番号は、BF_00001から再開されます。)

 日付を変えて撮影すると、その日の名前のサブフォルダが作成されますが、末尾番号は同じ番号が付きます(アルファベット部はアンダーバーに戻ります)。ファイル番号は続き番号になります。 (例)

撮影日	サブフォルダ	ファイル番号
2025年12月5日	251205_2	\sim BF_20795
2025年12月7日	251207_2	BF_20796 \sim

- 画像形式によって、ファイル番号のあとの拡張子が変わります。

静止画	JPEG 形式	.JPG
	DNG 形式	.DNG
動画	MOV 形式	.MOV

ご注意!!

サブフォルダの末尾番号が Z9、ファイル番号が BF_9999 に達し た場合、ストレージに空き容量があってもそれ以上撮影ができなく なります。必要な画像をパソコンや外部ストレージに転送してから、 内部ストレージを初期化する、もしくはパソコンから最後のフォルダ を消去してください。 システムメニュー

システムメニューで、カメラの基本状態を設定します。

システムメニューの開き方

ボタンを押して、オプションメニュー画面を表示し、 v ボタン
 で「SYSTEM」を選び、 の ボタンを押します。



システムメニューでは:

★ボタンかダイヤルで、設定したい項目を選びます。 ボタンか ④ ボタンでサブメニューが開きます。 項目によっては、専用画面が開くもの、確認メッセージが表示され るもの、2 階層目の項目が表示されるものがあります。

100%	15:46	9999
		>
ストレージ / フ	アイル管理	· • • •
著作権情報		
レンズ光学補正	E	
電子シャッター	·表示	Л
センサーリフレ		
水準器調整		
サブメニューでは:

★ボタンかダイヤルで、希望のオプションを選びます。
ボタンか ④ ボタンで確定します。

(く ボタンか 🚥 ボタンを押すと、変更なしでサブメニューが閉じます。)



システ	・ムメニ	ューリ	スト	•

項目	項目(2階層目)	ページ
情報 / ファームウェア	-	146
フトレージノファノル管理	ファイル番号のリセット	147
ストレーンノファイル官庄	内蔵ストレージの初期化	148
	著作権情報の記録	149
著作権情報	撮影者名	149
	著作権者名	149
レンブ坐営建正	回折補正	151
レノス元子補止	周辺光量補正	151
電子シャッター表示	-	151
センサーリフレッシュ	-	152
し洋中国教	キャリブレーション	152
水华岙祠垒	リセット	152
	時計	153
	タイムゾーン	153
日付 / 時刻 / エリア	サマータイム	153
	日付フォーマット	154
	24 時間表示	154
」	言語 / Language	155
Language / 单位	単位	155
	設定の保存	156
設定の管理	設定の復元	156
	設定のリセット	157

ご注意!!

カメラの状態によって、設定することができない項目やオプションは、グレーで表示されます。

情報 / ファームウェア

カメラの以下の情報が確認できます。 モデル名 モデル番号 シリアル番号 ファームウェアバージョン

装着されているレンズの以下の情報が確認できます。

レンズ名 レンズシリアル番号 ファームウェアバージョン

認証マークが確認できます。

メモ

 カメラに掲載されていない認証情報は、カメラ底面、化粧箱、 使用説明書等に表示されています。

ファームウェアの更新

カメラや装着されているレンズのファームウェアの更新ができます。 ファームウェアの更新状況、更新方法は、弊社 WEB サイトにてご 確認ください。

sigma-global.com/jp/support/

ストレージ / ファイル管理

「ストレージ / ファイル管理」画面で、内蔵ストレージの使用量が 確認できます。



а	内蔵ストレージの総使用量 / 内蔵ストレージの総容量
b	静止画ファイルの使用量
с	動画ファイルの使用量
d	その他のファイルの使用量

ファイル番号のリセット

任意のタイミングで、ファイル番号下4桁を0001から再開できます。

「ストレージ / ファイル管理」→「ファイル番号のリセット」→「ファ イル番号のリセット」→「完了」

メモ

- リセットすると、末尾番号がひとつ繰り上がったサブフォルダが新 しく作成され、そちらに撮影ファイルが保管されます。(ファイル 番号の頭の数字も変わります。)

(例)

	サブフォルダ	ファイル番号
リセット前	251204_5	BF_50851
リセット後	251204_6	BF_60001

内蔵ストレージの初期化

画像ファイルをすべて消したいときや、画像以外の不要なファイル を消したいときは、内蔵ストレージの初期化をしてください。

「ストレージ / ファイル管理」→「内蔵ストレージの初期化」→「内 蔵ストレージを初期化」→「完了」

警告 !!

初期化はロックされた画像とそれ以外のファイルもすべて消去します。必要なファイルが残っていないか十分確認してから初期化してください。

著作権情報

撮影時に「撮影者」、「著作権者」の情報を Exif 情報に記録できます。

- それぞれ半角英数字・記号で48文字まで入力できます。

1

「著作権情報」→「著作権情報の記録」→「入」にします。

2

「撮影者名」、「著作権者名」のいずれかを選び、以下の「文字の 入力方法」の手順に従い、文字を入力します。

文字の入力方法

10	0%			15:46				9999	110	0%			15:46	6			9999
SI	GMA	Corp	oorat	ion					SI	GMA	Cor	porat	ion			а	
q v	v e	e 1		t y	۲ I	J	i	о р	q	w	e. 1	i.	t - 1	y I	<u>)</u> . 1		o p
а									а				2				
A/a						n	m		A/a				D				
								Delete	123								
×								~	×								

a.入力文字表示エリア

入力した文字が表示されます。入力文字表示エリアのカーソルはダ イヤルで移動できます。

b. キーボードエリア

タッチパネル、もしくは 〈◇ ボタンでカーソルを移動して、 ④ ボタ ンで入力します。

A/a	キーボードをアルファベットに切り替えます。 アルファベットの表示中は、押すごとに大文字 / 小文字を切り替えます。
123	キーボードを数字、記号に切り替えます。
Delete	カーソルの左側の文字を消します。

3

一通り文字を入力したら、「✓」キーを押して入力を確定します。

- 「X」キーを押すと入力がキャンセルされ、「著作権情報」メニュー に戻ります。
- 著作権情報を記録しない場合は、「著作権情報」→「著作権情報」→「著作権情報の記録」→「切」にします。
- 入力した情報を消去したい場合は、「Delete」キーですべての文字を消去し、「イ」キーを押して確定します。

メモ

記録された情報は、SIGMA Photo Pro の「撮影情報ウインドウ」や Exif 対応ソフトで確認することができます。

ご注意!!

- カメラを貸したり譲渡するときなどは、「著作権情報の記録」を 「切」にしてください。また各入力項目は空欄にしてください。
- 著作権情報記録によるトラブルや損害が生じた場合、当社では 一切責任を負いません。

レンズ光学補正

以下のレンズ収差の補正の有無を設定できます。

回析

絞りによって生じる画質低下を緩和します。

切 (初期設定)	λ
-----------------	---

周辺光量

画面周辺が暗くなる現象を緩和します。

切	オート(初期設定)

電子シャッター表示

シャッターボタンを押したタイミングで、画面に黒い画像を表示させ るか、させないかを設定します。

切	入(初期設定)

センサーリフレッシュ

画像に輝点が記録される場合、センサーリフレッシュを行ってくださ い。撮像素子と画像処理の最適化が行われます。

キャップを閉め、「センサーリフレッシュ」を選び、 ④ ボタンを押します。

センサーリフレッシュが完了すると、カメラが自動的に再起動します。

ご注意!!

- センサーの温度が高いとき、もしくは低いときには、センサーリ フレッシュを実行できない場合があります。

水準器調整

水準器の角度のずれを調整できます。

カメラを水平な場所に置いて、「キャリブレーション」を選び、④ ボタンを押します。

(新しい調整値が記録されます。)

リセットしたい場合は、「**リセット」**を選び、④ ボタンを押します。(工 場出荷時の調整値に戻ります。)

日付 / 時刻 / エリア

長期間使用していなかった場合や、海外で使用する場合など、日付、 時刻、エリア(地域)を設定してください。

 ー 画像ファイルに撮影日時の情報が記録されますので、正しく設定
 してください。

1

「日付/時刻/エリア」を選びます。

2

「タイムゾーン」で、ご使用になるエリアを選びます。

 - 該当するエリアがないときは、協定世界時(UTC)との時差を 参照し、同じ時差のエリアを選んでください。

3

必要に応じてサマータイムを設定します。「サマータイム」で「切」 か「入」を選びます。

4

日付時刻表示エリアで**〉**ボタンか ④ ボタンを押すと、日付 / 時 刻が設定できます。





<>> ボタンで各項目を選び、 ◇ ボタンかダイヤルで設定します。



6

● ボタンを押して確定します。 変更しない場合は、 🚥 ボタンを 押します。

ご注意!!

- カメラの内蔵時計は、カメラ動作用バッテリーから内蔵の充電池 に充電された電気で動いています。長期間カメラにバッテリーが 入っていない状態で、充電がされていない場合は、内蔵時計を 再設定する必要があります。
- 時刻を設定した後に「サマータイム」を変更すると、設定され た時間が1時間シフトします。

年月日の順序を変えるには

日付表示は、年 / 月 / 日、月 / 日 / 年、日 / 月 / 年の 3 種類から 選べます。

「日付フォーマット」で、希望の表示順序を選びます。

24 時間表示 / 12 時間表示 (AM/PM) を切り替えるには

「24 時間表示」で、「入」(24 時間表示)、「切」(12 時間表示) を選びます。

LANGUAGE / 単位

言語の設定

メニュー画面等に表示される言語を設定できます。

「Language / 単位」→「言語 / Language」

言語は17種から選べます。

English	英語	日本語	日本語
简体中文	中国語 (簡体字)	한국어	韓国語
繁體中文	中国語 (繁体字)	Norsk	ノルウェー語
Dansk	デンマーク語	Polski	ポーランド語
Nederlands	オランダ語	Português	ポルトガル語
Suomi	フィンランド語	Русский	ロシア語
Français	フランス語	Español	スペイン語
Deutsch	ドイツ語	Svenska	スウェーデン 語
Italiano	イタリア語		

単位の設定

撮影情報に表示される撮影距離の単位を選べます。

「Language / 単位」→「単位」

M (メートル)(初期設定) FEET (フィート)

設定の管理

カメラのセッティングを複数保存、保存された複数のセッティングか ら、任意のセッティングを復元できます。

設定の保存

現在のカメラのセッティングを保存できます。

一通りカメラを好みの状態にセットしてから、

「設定の管理」→「設定の保存」→「設定を保存」→「完了」で 設定が保存されます。

- 保存されたセッティングは、保存時の日時で名前が付けられ、 最大 10 個まで保存できます。
- 例:2025/10/2509:1532

設定の復元

保存された複数のセッティングから、任意のセッティングを復元でき ます。

1

「設定の管理」→「設定の復元」で、リストから任意のセッティング を選びます。

2

「復元」→「設定の復元」で設定が復元されます。

- 復元が完了すると、カメラが自動的に再起動します。

–「消去」→「設定の消去」で、選んだ設定が消去できます。

設定のリセット

時刻を除く、すべての設定がリセットされます。

「設定の管理」→「設定のリセット」→「設定のリセット」で設定 がリセットされます。

- リセットが完了すると、カメラが自動的に再起動します。

メモ

- 「設定のリセット」を行っても、保存されたセッティングは削除されません。
- 「設定の復元」「設定のリセット」を行うと、自動的に操作前のセッ ティングがバックアップされ(AUTO BACKUP)、操作前のセッ ティングに戻すことができます。
- 1

「設定の管理」→「設定の復元」で、「AUTO BACKUP」 のセッティ ングを選びます。

2

「復元」→「設定の復元」でバックアップされた設定が復元されます。 - 復元が完了すると、カメラが自動的に再起動します。

参考資料

別売アクセサリーの紹介や、カメラのスペックなどを説明します。

別売アクセサリー

ハンドストラップ HS-11B / HS-11G

手首に合わせ、長さを調整できるアジャスター付きで、カメラをしっかりと保持できます。BF のカメラボディ色に合わせ、ブラック(HS-11B)とグレー(HS-11G)を用意しています。

バッテリーチャージャー BC-81

USB PD(USB Power Delivery)に対応した、BF 用リチウムイ オン充電池「バッテリーパック BP-81」専用の充電器です。2 個の BP-81 を同時に充電できます。

※バッテリーチャージャー BC-81 で充電するには、別途、以下の ものをご用意ください。

a: 市販の USB Type-C ケーブル (3 A 以上に対応したもの)

b: 市販の USB AC アダプターなどの外部電源(USB PD(USB Power Delivery)、出力 9V/3A に対応したもの)

ケーブルレリーズスイッチ CR-51

カメラの USB 端子に接続して、カメラから離れてレリーズすること ができます。カメラを三脚などに固定し、スローシャッターを切りた い場合や、動画撮影をしたい場合に便利です。(ケーブルの長さ: 約 1m)

困ったときは

カメラの調子が悪かったり写真がうまく写らなかった場合、故障と 思われる前に次の点を確認してください。

液晶モニターになんの表示も出ない。

バッテリーが消耗している。

- > 充電されたバッテリーと交換してください。(P.24)
- LCD オフ状態になっている。(P.113)
 - > シャッターボタンを半押しする、もしくはいずれかのボタンを 押してください。

撮影できない。

- データ処理中(ビジー状態)になっている。
 - > 処理が終わるまでお待ちください。

オートフォーカスが動かない。

- レンズのフォーカスモードスイッチが M になっている。
 - >レンズのフォーカスモードスイッチを AF にしてください。 (P.63)
- レンズがきちんと取り付けられていない。
 - > 正しくレンズを取り付けてください。(P.27)
- ご使用のレンズがオートフォーカスに対応していない。
 - > 弊社 WEB サイトにて、対応レンズかご確認ください。(P.16)

電源が勝手に切れる。

- オートパワーオフが働いている。
 - > バッテリーの消耗を抑えるためにオートパワーオフ機能が働いています。不都合がある場合は、オプションメニューで、スリープタイマーの設定を「OFF」にしてください。(P113)

撮影・記録ができない。

内蔵ストレージの使用容量がいっぱいになっている。

> いらない画像を消去して容量を空けてください。(P.129) バッテリーが消耗している。

> 充電されたバッテリーと交換してください。(P.24)

液晶モニターの表示・画像が不鮮明になる。

- ゴミや汚れが付いている。
 - > ブロワーで吹き飛ばしたり、柔らかい清潔な布で拭き取ってく ださい。(P.17)
- 液晶モニターが劣化している。
 - > お買い上げの販売店、もしくは弊社カスタマーサポートにご 相談ください。

画像がボケて写っている。

- ピントが合わないまま撮影している。
 - > シャッターを半押しして、フォーカスフレームが緑色になったのを確認して撮影してください。(P.65)
- レンズのフォーカスモードスイッチが M になっている。
 - >レンズのフォーカスモードスイッチを AF にしてください。 (P.63)
- 手ブレをおこしている。
 - > ISO 感度を上げるか、三脚等に固定して撮影してください。 (P.38)

画像を消去できない。

- 画像にロックがかかっている。
 - > ロックを解除してください。(P.130)

撮影年月日・時間が正しく表示されない。

- 日付・時間が正しく設定されていない。
 - >日付・時間を正しく設定してください。(P.153)

エラーコードが表示される

- 内部にエラーが発生したため撮影を続行できません。
 - > 弊社カスタマーサポートにご相談ください。

主な仕様

機種名		Sigma BF	
	型式	レンズ交換式デジタルカメラ	
		内蔵メモリー(約 230GB)、	
型式	記録メディア	USB ストレージ(バックアップ対	
		応)	
	レンズマウント	Lマウント	
		35mm フルサイズ(35.9mm ×	
	型式	23.9mm)裏面照射型 CMOS セ	
		ンサー	
	カメラ有効画素	約 2460 万画表 /約 2530 万画	
	数 /	表	
	総画素数		
撮像素子	アスペクト比	3:2	
		ロスレス圧縮 RAW(DNG)	
	静止画ファイル	14bit / JPEG (Exif3.0)	
	形式	RAW(DNG)+JPEG 同時記録	
		可能	
	両像縦構せ	[21:9]、[16:9]、[3:2]、[A	
		Size]、[4:3]、[6x7]、[1:1]	
記録	RAW	6016 × 4012	
画素数	JPEG	6016 × 4012	
クロップ		3840 × 2560	
9097		(約1.5倍の焦点距離に相当)	

	動画フォーマット	Mov: H.264、H.265、L-Log	
	立吉フューフット	リニア PCM	
	日田ノオーマット	(4ch 48kHz / 16bit:最大)	
		6K ※(6K:6016 × 3384)/	
動面		23.98、25、29.97 fps	
判問	司99両実物 /	※ EIS との併用不可	
記述バンエレ		UHD4K / 23.98、25、29.97	
	<i>JD-</i> <u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u></u>	fps	
		FHD / 23.98、25、29.97、	
		50、59.94、100、119.88 fps	
	連続記録時間	2 時間	
	∧F.₩. * /	位相差検出方式+コントラスト検	
	スロル式フ フォーカフ	出方式/シングル AF、コンティ	
	チード	ニュアス AF(動体予測機能付)、	
		マニュアルフォーカス	
	AF 測距	$-5 \sim 18$ EV (F1.4 · ISO100)	
	検出範囲 /	1 占 多占王一ド	
フォーカス	AFモード		
	AF ロック	シャッターボタン半押し	
		被写体検出(人物 + 動物、人物、	
		動物)、AF+MF、常時 AF+MF、	
	その他の	MF 拡大(全画面 x2 / x4 /	
	フォーカス機能	x8)、フォーカスピーキング、	
		フォーカスリング制御(リニア、ノ	
		ンリニア)	

	測光方式	評価測光、スポット測光						
	測以毎回	-7 ~ 20EV						
	測兀軋囲	(50mm F1.4 : ISO100)						
		プログラム AE、シャッター優先						
		AE、絞り優先 AE、マニュアル						
	静止画撮影	※シャッタースピード、絞り値、						
		ISO 感度の、オート / マニュアル						
		切替で変更						
		プログラム AE、シャッター優先						
		AE、絞り優先 AE、マニュアル						
	動画撮影	※シャッタースピード、絞り値、						
		ISO 感度の、オート / マニュアル						
		切替で変更						
		ベース感度						
露出制御		L静止画撮影」ISO320						
		L動画撮影」MOV:ISO320、						
	ISO 感度(推奨	Log 撮影時:ISO1250						
	露光指数)							
		設定可能範囲						
		ISO100-102400 /						
		払張感度 ISO6、12、25、50						
	露出補正	± 5EV(1 / 3 ステップ)						
	AE ロック	タッチ操作						
		3コマ、5コマ段階露出 ±3EV(1						
	露出ブラケット	/3ステップ、適正→アンダー→						
		オーバー)(順序変更可)						
		輝度レベルモニター(ヒストグラ						
	露出確認ツール	ム)、ゼブラパターン、フォルスカ 						
		ラー						

手ブレ補正	方式	動画のみ電子式(EIS)					
		8種(オート、オート(色残し)、					
		白熱電球、蛍光灯、マニュアル					
ホワイトバラ	ランス	(50K ステップ)、晴れ、曇り、					
		日陰)、カスタム 1~10 の追加が可					
		能、AWB ロック機能					
	形式	電子シャッター					
S. Janutz-	シュックー連度	1/25600~30秒、					
2799-	シャッター迷皮	Bulb (最長5分)					
	セルフタイマー	2秒、10秒(カウントダウン表示)					
		1コマ撮影、連続撮影(高速:約					
		18 コマ / 秒), (中速: 約5コマ /					
ドライブ	ドライブモード	秒),(低速:約3コマ/秒)、					
		セルフタイマー (2 / 10 秒)、					
		インターバル撮影					
	海结相影法英	任意のコマ数を選択可能(3、5、					
	建杭旗彰迷侵	8 コマ/秒)					
	連続撮影可能枚						
	数						
モニター		TFT カラー液晶、アスペクト比					
	൛ᅷ / 汨眠女	3:2、3.15 型、約 210 万ドット、					
	ルズ/ 悦玎平	静電容量方式タッチパネル/約					
		100%					

		10.57					
カラーモート	<u>*</u>	13 種 スタンダード、リッチ、カーム、パ ウダーブルー、ウォームゴールド、 ティールアンドオレンジ、FOV ク ラシックブルー、FOV クラシック					
		イエロー、フォレストグリーン、サ ンセットレッド、シネマ、709 ルック、 モノクローム					
その他の機能	能	設定の保存/復元、ウェブカメラ、 カメラ内 RAW 現像、収録した 動画からの静止画切り出し、Fill Light(ボディ内 RAW 現像のみ 対応)					
内蔵マイクノ	/ スピーカー	ステレオマイク/モノラルスピー カー					
表示言語		英語、簡体中文、繁体中文、デ ンマーク語、オランダ語、フィンラ ンド語、フランス語、ドイツ語、イ タリア語、日本語、韓国語、ノル ウェー語、ポーランド語、ポルト ガル語、ロシア語、スペイン語、 スウェーデン語					
	USB Type-C	USB 10Gbps (USB 3.2) 準拠 (マ スストレージ、UVC、UAC、外 部映像出力、充電/給電)					
インヌー フェイス	REMOTE	ケーブルレリーズ(USB 経由)					
	外部マイク	USB にて対応					
	ヘッドホン出力	USB に て対応					

防塵防滴構	造※	あり ※防塵・防滴に配慮した構造と なっており、小雨などでの使用は 可能ですが、防水構造ではありま せん。						
電源	電源	専用リチウムイオン電池(Li-ion バッテリーパック BP-81)						
	静止画撮影可能 枚数	約 260 枚						
	連続動画撮影可 能時間	約 60 分						
外形寸法・ ^{哲会}	外形寸法 (幅 x 高さ x 奥 行)	約 130.1 × 72.8 × 36.8mm						
貝里	質量	約 446g(バッテリーを含む)、約 388g(本体のみ)						
動作搢培	使用可能温度	0~+40°C						
3015-78-75	使用可能湿度	85%以下(結露無きこと)						

※仕様は予告なく変更することがあります。

SIGMA DIGITAL CAMERA モデル名:BF モデル No.: C361 入力: 3.5V ---- 入力 (USB): 9V / 5V ----

Li-ion バッテリーパック BP-81 リチウムイオン充電池 モデル No.: BP-81 電圧: 3.6V 容量: 3300mAh バッテリーの製造日について

バッテリーの製造日はロット番号に記されています。ロット番号の 読み方は以下のとおりです。



(例) E B F B

1234

1 製造年				2 製造月			③ 製造日							
Ε	2024	Т	2035	Α	1	G	7	1	1	В	11	М	21	
D	2025	S	2036	В	2	Н	8	2	2	С	12	Ν	22	
С	2026	R	2037	С	3	J	9	3	3	D	13	Ρ	23	
В	2027	Ρ	2038	D	4	Κ	10	4	4	Ε	14	R	24	
Α	2028	Ν	2039	Ε	5	L	11	5	5	F	15	S	25	
Ζ	2029	Μ	2040	F	6	Μ	12	6	6	G	16	Т	26	中域司起与
Υ	2030	L	2041					7	7	Н	17	V	27	
Х	2031	κ	2042					8	8	J	18	W	28	
W	2032	J	2043					9	9	Κ	19	Х	29	
۷	2033	Н	2044					Α	10	L	20	Υ	30	
U	2034	G	2045									Z	31	

製品のお問い合わせは… シグマカスタマーサポート部 フリーコール:0120-9977-88 (携帯電話をご利用の方は044-989-7436に ご連絡ください) 〒215-8530神奈川県川崎市麻生区栗木 2丁目4番16号 サポート・インターネットページアドレス sigma-global.com/jp/support/ サポート・メールアドレス info@sigma-photo.co.jp

株式会社シグマ 本 社:〒 215-0033 神奈川県川崎市麻生区栗木 2 丁目 8 番 15 号 インターネットホームページアドレス sigma-global.com/jp/